07年度　コラムプラネット　第4セッション

偽

エントリー作品数　43

上位　15作品　をお届けします。

ColumnLand

今週のお題

開催中：　想

投稿受付中：　投稿受付期間外

■そして船はしずかに地上に降りる。名残のセッション「想」を奏でながら。
■ご投票は3月2日の30時までにどうぞ。

テーマ：偽

投票総数：192件

順位	ポイント	投票数	作品タイトル	作成者	作者コメント	コメント数	最新投稿時間
1位	42	18	偽金貨の作り方	はつね	有	27	1/26 18:41
2位	36	16	４月１日	クリリン	有	24	1/26 15:53
3位	33	13	センサー	輝	有	27	1/25 17:16
	32	14	交代劇	がらがらどん	有	22	1/26 18:54
	26	12	僕も偽物サンタクロース	go19	有	28	1/27 5:15
	16	8	新たなビジネスモデル？	かぴばら	有	26	1/26 15:57
	13	8	オゥ　ジャパニーズ	インギリー	有	27	1/27 23:3
	12	5	江戸隠密鑑定人	ハイパー・ワイハー	有	18	1/22 14:56
	11	5	ストーカー	琥珀	有	17	1/26 16:0
	11	8	いや、まだ大丈夫だよ。君にはまだ椅子を動かす力が十分にあるし。	めふめと2世	有	25	1/27 12:29
	10	5	イの為？	ノエ	有	24	1/24 22:16
	10	6	性格偽装	てん	有	17	1/21 1:28
	10	6	偽りの原点	コーサク	有	15	1/21 0:26
	9	5	清らかな友達	kirie	有	21	1/23 20:37
	9	4	昔自分、今自分	ロココ	有	21	1/26 16:3
	8	3	善意のうそ	pooh	有	13	1/21 0:17

8	6	へそくりの使い方	contax139	有	15	1/21 0:50
7	4	PLASTIC	kunipi	有	22	2/1 15:16
7	4	最後の1センチ	わがし	有	42	1/23 21:3
7	3	自己偽装	King　Power	有	16	1/21 2:6
6	3	ホメオパシー	ken	有	18	1/21 1:8
6	3	隠蔽・偽装・報道	316L見習	有	13	1/20 23:42
5	3	ウソ	vista	有	19	1/21 0:25
4	2	偽の感覚	sum1	有	17	2/1 15:21
4	2	文字の偽物	紫雲	有	14	1/28 0:10
4	3	ホントノ自分	Bloomoon	有	14	1/21 18:9
4	3	２つの「偽」	ゼットン	有	21	1/24 23:38
4	3	ネーミング	星イッテツ	無	22	1/21 8:4
3	2	偽りの会話	Yuu	無	16	1/22 2:44
3	1	嘘つき	貧保 耐三	有	24	1/21 21:34
3	1	偽物と本物	やむ	有	12	1/21 5:12
3	1	偽りは悪か　真は善か	るらら	有	12	1/21 0:49
3	2	偽りの時雨	hanson	有	18	1/21 5:37
3	1	旗を揺らす風	活	有	14	1/22 12:31
2	1	偽から真へ	大黒様	有	18	1/21 4:3
2	1	加東の葛藤	レロニラ	有	15	1/21 1:4
2	2	清らかな嘘なら許されるの？	３匹ヤギの	無	25	1/21 1:38
2	1	「人」の「為」と書いて「偽」	lemontit	有	14	1/22 15:18
2	2	バカ舌って得じゃない？	アボガド	無	27	1/26 1:37
1	1	偽女装	ローズ	無	19	1/20 19:23
1	1	It's a …	みつきんぐ	有	20	2/1 15:11

0	0	あなたは自分を偽ることができますか	ピチョット	有	11	1/20 0:31
0	0	世間に対して恥ずかしい	シュトルムティガー	有	11	1/21 1:16

偽金貨の作り方

総合順位：1位
合計ポイント：42 Point
作者：はつね
作者コメントを読む

―――みんなに受ける化学実験シリーズ　第3回　偽金貨を作ろう！！――――

　錬金術。鉄や鉛といった卑金属を金に変えるという技術に挑戦した人達がいました。万有引力の法則を見つけたかの大科学者ニュートンでさえも、その晩年は錬金術に明け暮れていたといいます。もちろん鉄から金を作ることは一般的にはできませんし、もしできたのであればそれは全て贋物でしょう。読者の方々はゆめゆめ、偽金にだまされませんように・・・（まぁ困ったら硫酸でもかけてみればいいんですけどね）。

　さて「みんなに受ける化学実験シリーズ　第３回」はそんな贋物の金を作って、錬金術で遊びたいと思います。今回は銅貨を金貨に換えてしまう実験となります。

　準備するものは以下の通り。

・銅
・亜鉛（粉末状のものを）
・水酸化ナトリウム（固体状）
・蒸発皿
・ホットプレート、ないしはガスバーナーなど

　銅は銅貨を使うと面白いでしょう。1セントコインでも良いし和同開珎でも問題ありません。ただし十円玉を使ってはいけません。日本で発行されているお金に変なことをすると、硬化変造の罪で捕まってしまうので・・・。

　まず銅を磨きます。クレンザー等で磨いても良いのですが、手っ取り早くお酢にでもつけてしまいましょう。もちろん水でよく洗うこと。
　次に蒸発皿に少量（４0ml程度）の水と水酸化ナトリウムを2g程度入れます。量は適当でよいです。これが全て溶けたら亜鉛粉末を2ｇ程度入れます。少なすぎるとこの後がつまらないし、多すぎても上手くいかないのでそこは各自調整してください。亜鉛が多すぎたら適量水と水酸化ナトリウムを加えれば問題ありません。
　これらを入れた蒸発皿を良く熱し、沸騰したら銅貨を入れます。このとき銅貨にしっかりと亜鉛、水をかけるようにすること。

　このまま5分ほど熱したら、銅貨を取り出し水で洗います。すると先ほど準備した銅貨がまるで銀のように輝いているでしょう。

　さらにこの偽銀貨を火であぶると、見る間に金色に変化します。これが今回の見所。見た目には銅貨が銀貨になり、それが金貨へと変化しているように見えるというしろもので、これならば化学になじみがない人達に

もきっとウケるでしょう。

ちなみにこれは銀の周りに亜鉛でめっきがされ、そのため銅貨が亜鉛色、つまり銀色になるということです。これが金貨になるというのは、加熱すると亜鉛と銅が反応して黄銅ができるという反応です。

　簡単な実験ですが、溶液が目に入ると失明の恐れがあるので、ゴーグルをつけることを忘れないように。

【筆者より】
　最近は子供達の科学離れが激しいといいますが、それは教える者たちが、子供達に科学の面白さを伝えられていないのではないかと思います。読者の皆様がこれを読んで科学に興味を持ち、そしてそれを知らない人達に面白さを伝えてくれることを願ってやみません。
　なお今回の冒頭で鉄から金を作ることは『一般的には』できない、と書いたが実際には不可能ではありません。粒子加速機というものを使い、鉄原子にヨウ素原子を打ち込むなどの方法を使えば作ること自体は不可能ではないのです。ただしこんなことをしても金塊はできず、ただ数個の金原子ができるだけで、到底コストに見合うものではありません。まったく錬金術は現代になっても割りの合わない話ですね。

【次回予告】
　みんなに受ける化学実験シリーズ　第4回　お湯で溶ける金属を作ろう！！
（※次回配信日は3週間後となります）

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
Bloomoon 1/7 19:46	次のお題「金」にからめているし、 社会理工学研究科ではなかなかお目にかかれない「これぞ東工大！」的な文章だし、 楽しく読ませていただきました！ 作者さんコメが今から楽しみです（笑）
輝 1/8 18:1	偽金貨！　　・・・教育上はNGでしょうね、やはり（笑） 作者さんは教員志望学生さんでしょうか？ 筋金入り理科ギライのわたしにはその熱意がまぶしいです。 ふれーふれー。 これってメルマガ形式？・・・どこかで見たような・・・（笑）
イッカイアッテナ 1/8 22:32	面白かったです。 実際に、黄銅って金製品っぽく見せる装飾につかわれるみたいですし。実学をうまく授業に持ち込んだいい実験だと思います。(東工大でも学生が小学校に出張して理科の授業をやるというボランティアがあるのですが、そこで使えそうな実験ですね。←ただ、小学生には少し難易度が高い気はしますが。) ところで、第四回のお湯でとける金属…マグネシウムっていうオチはだめですよね。(確か、塩化銀だったか塩酸で溶ける何かがお湯でとけましたよね。←うろおぼえ) ＞追記(というか、初めに思ったこと) でもでも、黄銅って五円玉の材料なんだよなぁ。なんか普通に五円玉の色ジャンって気づいてしまう気もする。

ノエ 1/8 23:37	小さいころ、「黄銅＝金」と思っていました。。
あお 1/9 13:37	第四回も読みたい！次回の投稿はあるんでしょうか。 文章も読みやすくて良いと思います。科学の実験の説明なのに料理のレシピを読んでるみたい。実際にやってみたくなってしまいます。
ハイパー・ワイハー 1/9 23:2	すげーーーー！！！！！ 次も絶対読みます！！！ こんな面白い作者さんがいたなんて、早く言ってよ～。
go19 1/12 18:55	とても面白かったです。 　この説明で、この演示実験を再現できるか検証はしていませんが、読んだ限りではたぶんできそうです。しかも面白かったので、この文章は面白い説明文として成立していると考えます。 > 亜鉛が多すぎたら適量水と水酸化ナトリウムを加えれば問題ありません。 　ここで、「亜鉛が多すぎた」ことをどうやって識別すべきかが、述べられていればなお良かったと思います。 　「量は適当でよいです」の「適当」は、「だいたい」とか「テキトー」と書くとなお良かったと思います。「適当」という言葉は大雑把で良い場合に使うことが、世の中で合意されつつあるようですが、まだ正確さを要求する際に「適当」という言葉を使う場面もありると go19 は認識しています。 　あと、「準備するもの」に以下のものを追加することを提案します。 　(1) ゴーグル（防護めがね） 　(2) 加熱する銅をつまむピンセット
わがし 1/13 16:59	研究室の学生にやってもらおうかしらね・・・。
sum1 1/15 2:26	この実験、高校の時に化学の先生が実演してくれたことを思い出しました。 ところが、その先生は普段から「胡散臭い」というイメージで語られていたこともあって、実験に成功して黄金色になったコインを見せても、教室中から「うさんくせぇ～」という声。。。 この「錬金術」の成功の秘訣は、実験者（教える側）が見る側にいかに信頼されるかにありそうです。
茜 1/16 23:54	購読したいです！ いやー、さすが東工大。でもこういう見た目が面白い実験は、理科が好きでも嫌いでも楽しめそうでいいです。でんじろうさんがやりそう。 ところでこれ、３回目なんですよね。 理科離れについての話は、何も３回目ですることかな？どちらかと言えば１番最初の挨拶っぽいかな？と思ったので、これについての言及はここではいらないんじゃないでしょうか。
鳥 1/17 12:8	「硬化」変造 はおいといて。 内容は面白いですね。そういえば金色に光る十円硬貨があるらしいけど（見たことあるような気がする）、 この手でいじったのかな……?w 硬貨をいじるといえば、ノーベル賞受賞者の小柴さんが実験でアルミニウムを使うときに、 実験室の学生に一万円を渡して1円硬貨10000枚に両替させた、という逸話があるらしいですね。 たしかに量の割に安いけど、でもさすがにまずいでしょうwww
かぴばら 1/17 14:33	メルマガ形式にするよりも、小学校などに赴いて実験を行い、そこで小学生の感想などが入る形式だと、より良いかなと思いました。 東工大にそんなサークルがあった気もしますが。
鞦韆 1/17 18:8	面白かったです！これぞ東工大！ 次回配信日は3週間後…これは次回の金の回に大いに期待が持てますね！

がらがらどん 1/18 18:29	かなり丁寧に書かれていて、読みやすかったです。「ゴーグルをつけることを忘れないように」という配慮や、【筆者より】で豆知識が書いてあることで、より良い解説書になったのではないでしょうか。 10円玉を銀色にして100円玉に見せて悪さをするという話を、いつかズッコケ三人組シリーズで読んだ気がするなぁ。どなたかご存知ないですか？
サンダーバード 1/18 20:40	化学の実験は面白いです。できれば、水酸化ナトリウムの入手方法がわかると良かったです。
parakeet 1/20 0:34	みなさん面白いというコメントが多いですが…。 僕はこういう手品的な科学ショーのようなもので科学離れを食い止めようとする流れが嫌いです。 「それを見せられたからといって科学がしたくなるのか？」 というのが昔から疑問です。 見せ物としてやる分には面白いと思いますけど。 あなたは手品を見せられたら手品を学びたくなりますか？ 僕は、タネを知ったら「へー」で終わりだと思います。 いずれ、もっと別なアプローチを提案したいと思っています。 あ、話自体は面白かったですよ。 勝手に自己主張してしまってすみませんでした。
かちかち 1/20 14:18	私も次回の金と併せて「偽金」というタイトルで投稿したら面倒無くていいかなとか思っていたのですが、やられました。次回作を楽しみにしています。でも、作者が誰かはバレバレになってしまいますよね。
いそしぎ 1/20 18:57	実験授業、とても面白かったです。 フォーマットも素敵なので、是非ともぜひ次回も配信を。
kunipi 1/20 20:41	むかし理科が苦手だった大人のためにも ぜひこういう実験教室やってほしいです。
Azalea 1/20 22:36	この実験、ちょうど母校の高校で文化祭のときに 小学生相手に化学部がやっていて（10円玉でしたが！） 小学生がとてもうれしそうに金の10円を持って帰る姿を 微笑ましく眺めていたのを思い出しました。 とても面白い実験です。 ただ、思うところはもっと別です。 私は教職過程をとっていて、この冬に延々と 理数離れを食い止めるには、という発表をさせられたのですが （もしかしたら、同じ授業を取られていたのかも！？） そこで思ったことは、どうあがいてもこの手のことをやることは 無理だということです。 授業では、いかにこの手の工夫を持ち込むかという点で グループ内討議をしていました。 大きな規模の実験は、仮に演示実験でも、その時間が確保できず それだけの時間をとるなら、何かに直結させないといけない。 または、簡単に一時限内で実施できないと難しいだろうと言うことになりました。 （ですので、私たちは、ひとつの時間が短く簡単で 　内容を直接置き換えられるものに限定して発表しました） どうしても時間が工夫に必要で、 じゃあ、逆に時間があれば、この手の実験も小手先でやることもなく、 授業中に現代の先端の話を伝えられそうです。 ですが、時間は上から与えられるもの。 ですから、もうどうしようもなく、これは絵にかいた餅になってしまうかと思います。 あと、小学校教員に理系が少ないことも問題だとか 話的にはいろいろありますので、この実験を考えるだけでは 理数離れを食い止めることはできないんじゃないかなあと思いました。

橘 1/21 1:29	「理科離れ」の話題で思い出したことがあったので。 自分の友達の女の子に、「自称」理系の子がいます。 でも、数Ⅲ・Cも物理も一切やってないそうです。 それどころか世界史もやってないので文系より楽だったそうです。 これでいいのか、日本の高校教育… 話は戻して。 大変楽しく読ませてもらったのですが(・・;) う～ん、これは作者サンが考えた実験の手法でしょうか？ もしそうでなかったとしたら、切り貼りした感がどうしてもぬぐい切れません(+ +;) あと、前回のわがしサンのメルマガを思い出したのですが、 あのときはラインとかを本当のメルマガを参考にして書かれていました(・・*) こちらはそれと比べると、メルマガ感が少し薄いような気がします… （化学反応式を書いてもらえれば、理解が早かった…ｗｗ）
paco 1/21 7:47	きっと割に合わなくても、作り出したくなる魅力があるんですよね、 金って。
354e14thave 1/21 16:59	第4回のお湯に溶ける金属はどうやってつくるのでしょうか？ なりきってるとこがかなり面白いとおもいます。 難解なことを素人にもわかりやすく、楽しく伝えたところが素晴らしいと思いました。
ひぃ 1/25 0:18	第四回まで用意されていたことにびっくりです。まさか、書いてくるとは思っていなかったので…。 というわけで、次回配信日は２週間とちょっと後になったわけですか。 …あれ？ちょっとだけ惜しいなぁ。
bagi 1/25 14:3	非常に楽しく読まさせていただきました。 こんな実験教室あるといいですね。
やむ 1/26 15:51	化学の実験とかってやっぱりとっかかりが面白いかで、興味をもつ人が出るかが決まるんでしょうね。そういう意味で面白い話でした。次回、期待してます
イッバイアッテナ 1/26 18:41	溶融する金属ですか。 実際にみることができたら、すごく楽しいと思います。 （あと、メルマガっていう設定がいいなぁっと今さらながら。全国の小学校教員が、日夜子供たちの教育を改革すべく、メルマガとカを読んで頑張る姿を想像してしまいました。）

ＴＯＰへ

４月１日

総合順位：2位
合計ポイント：36 Point
作者：クリリン
作者コメントを読む

今日は４月１日。
毎年この日になるといつもより警戒心を働かせる僕だが、
去年はあの女にまんまと騙された。
その女は高校の同級生で、小中高と一緒のいわゆる腐れ縁だ。

去年。
「これ、あんたに渡してって頼まれたの」
と言って彼女はラブレターを渡してきた。
喜んで開けてみたら、中にでっかく「バカ」の二文字。
彼女は、あっけにとられる僕を見て大笑いしていた。

今日はその彼女に呼ばれて
駅前の喫茶店に向かっている。
彼女の企画でみんなで花見をやることになったので
その計画を立てるというのだ。
その席で今年もまた何か大ボラを吹くのだろう。
心構えができているのだから
そう簡単には騙されないぞ。
少し意気込みながら店に入る。

カランカラン

窓際の席で彼女が手を振っている。
他にはまだ誰も来ていないようだ。

「みんなはまだ来てないの？　計画はどの辺まで決まってるの？」
「ああ、お花見の計画ね。あれね……えーと……あれ、嘘」
「嘘！？」

いきなりジャブをかまされた僕は、驚きの声を上げた。
しかしここで動揺してしまったら彼女の思うつぼだ。
僕は必死に平静を装った。

「実は今日は……あんたに言いたいことがあって。それで呼び出したんだけど……」
「ああ、そうなんだ。何だい？」

なんかとんでもないことを言いそうな顔をしている。
今年は二段攻撃か？
でも大丈夫だ。
嘘は嘘と分かっていれば、騙されないものなのだ。
そういうものなのだ。

「あのさ…実は私……昔からあんたのこと……好き……だったんだけど……」

来た。
思ったよりベタな嘘だな。
これじゃあさすがの僕もひっかかりませんよと。

「あのさ、いくらエイプリルフールでもその嘘はちょっとベタだよ」
「そっかー、つまんないの」

どうやら三段目は無いようだ。
今年は僕のほうが一つ上手だったらしい。
僕は少し勝ち誇って何の気なしに携帯を開いた。

３月３１日。

携帯の画面から目に飛び込んできた日付は
すっかり油断していた僕の脳を直撃した。

「今日って４月１日じゃないの！？」

じゃあさっきの告白は！？
ほんき！？まじ？
急に心臓がバクバク鳴り始めた。
古い付き合いだから僕のことをそんな風に見てるとは思わなかった。
そういえば、あのときのあの行動やあの台詞は好きの気持ちの裏返しだったのかもしれない。
思い出がフラッシュバックする。
そうだったのか。
点と点が線になった。

すると彼女はニヤニヤしながら自分の携帯を開いて見せた。

「そうだよ、今日はエイプリルフールだよ」

あれ、彼女の携帯は４月１日。

どういうことだ？？

「前に会ったときにこっそり携帯の日付１日遅らしておいたんだよね。どう？今年は手が込んでるでしょ？」

もう、何が本当なんだか。

数日後、僕達は付き合うことになった。

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
kirie 1/7 9:26	これなんてライアーゲーム？ すっきりまとまっていて面白かったです。
みつきんぐ 1/7 20:44	彼女の作戦勝ちですね！ 告白で一気に「僕」は意識して、自分の気持ちに気付いたわけですね。 うん、面白かったです。
ノエ 1/8 23:56	やっぱり、男ってぼけ～としているほうが幸せなのかなぁ～。。 わたしも騙されてみたいです。。
イッカイアッテナ 1/9 0:52	元々、今回のお題を「嘘」と勘違いしていた。そういう立場の人間の感想だと思ってほしい。 実は、自分も4月1日ネタは考えていました。(投稿できないけど。) そして、あぁ、絶対エイプリルフールネタは多いだろうなぁっと予想していました。 .....お題を「嘘」と勘違いしていた時は で、どんぴしゃでエイプリルフールネタを出してくる人がいたので、嬉しくなったわけです。あぁ、この人も勘違いしているよぉ。っと。 そして、最後まで読んで、ものすごく敗北感を感じました。 .....「偽」のエイプリルフールかよ。 うまい、うますぎる。勘違いして「嘘」で書いていると見せかけて、実は「偽」どまんなかで作品を書いている。 うわぁ、うわぁ、うわぁ、騙されたぁ。すげーーー。 あくまでも、お題を「嘘」と勘違いしていた人のお話です。
わがし 1/9 19:18	いやん、幸せな話みっけたー！ いいなあ、こういうの。 小細工ができる仲というのは、とても楽しい。 女子が男子にいろいろかませる仲というのは、とても楽しい。 そして、男子がぬけぬけとそれにはまってくれるのが、とても楽しい。 小細工をする女子は、その男子が、大好きなんだよ。
貧保 耐三 1/9 22:22	僕のだまされやすいまっすぐな所が、とても微笑ましく、かわいらしく、しかける彼女の気持ちがなんとなくわかります。 付き合ってからも、ちょっとしたサプライズがあるのか今後も気になりますね。
vista 1/11 13:39	彼女の手の込んだいたずらが面白かったですw
橘 1/12 14:54	うーん… 「４月１日」＋「幼馴染」 で「恋愛モノ」だと読めてしまいました…案の定、告白(- -;) というより、「幼馴染」→「告白」って来てしまうかも… でも、嘘の重ね方はとても上手いと思いました(^ ^*) 一年前の「バカ」が「スキ」の嘘だというのも特に。 読んでいる最中にいい意味で混乱してしまって、 「もう、何が本当なんだか。」ってなってしまいますね(笑)
ロココ 1/12 23:2	馴れ初めを聞くのって、やっぱり楽しいですねぇ。いいお話です。
コーサク 1/14 16:6	男女の関係で一番盛り上がる時期の話ですね。

かぴばら 1/17 14:52	細かいことを言うようですが、これは ・僕が今日が4月1日であると（新聞・ニュースなどで）事前に知っていない ・タイミングよく携帯を見る の２つがそろわないと、成功しませんね。 彼女はこれくらい容易に予期できたのかも知れませんが。 あ、でもストーリー展開的によく練られていて、良い作品だと思いました。
Begonian 1/17 14:59	ふむ。 世の中にはこういう作品についてあまり多くを語っちゃいけない人というのが存在すると思うんですよ。 一度語りだしたら、戦略兵器級の火力を一点に集約させたような大惨事になりかねないというか。 たぶんここにも一人。 なんで一言だけ。 こういうの大好きです。
プーギン 1/18 7:19	あたたかい話ですね。 彼女が次にどんな展開のエープリルフールを用意したのか、楽しく先を読ませてくれました。つきあった後も、楽しいんだろうな、と予想させてくれます。
サンダーバード 1/18 20:25	嘘を連続して取り上げているところが、読み手を引き付け面白かったです。
pooh 1/20 18:58	面白いです。 途中まで読んで、結果はわかるようなきがちょっとしますが、日付を変えることまで思いませんでした。そこは一番よかったと思いますね。
いそしぎ 1/20 20:18	ごちそうさまでした。 作者さんと「彼女」の手の込んだうそに脱帽です。
Azalea 1/20 22:46	最後の落ちが蛇足のような。 これがなくても、この二人の間には……という雰囲気があった気が 本当に手が込んだ嘘をうまく織り込んで 読者もきっちりとだまして、ととても面白かったです。
でもどり 1/21 0:10	男心をくすぐってくれる彼女さんですね！ 話の流れがキレイで、読みやすかったです。 こういう甘酸っぱい思いを語るには、もう年をとりすぎました。 携帯の日付を一日ずらしておけるくらいの仲なんですから、 付き合うのは時間の問題だったかもしれませんね。 私は自分の相手にすら、いろんな嘘をついてでも、 携帯をいじらせないようにしているのに・・・。 あ、なんらやましいことは無いのですがね。
RIRI 1/21 1:59	この引っ掛け方は『ドラえもん』でジャイアンがやったやつじゃねーか。ごめんなさい、気にしないでください。 わざわざエイプリルフールに告白すんなよ……、って途中で思った私は完全に作者の思惑に引っかかりましたね。 そしてラスト一行がム・カ・ツ・ク(笑)。まさかのろけ話だったとは。
paco 1/21 7:56	「告白」のエイプリルフールのために、 彼女は長い長い布石をうってきた訳ですね。策士です。 そんだけずっと想っていられるって、 「僕」は魅力的な人間なんだろうなーと想像してしまいます。
354e14thave 1/21 17:2	他人のケータイを勝手に見るのはどうかと思う。とは言っても話の中だからOKか。
レロニラ 1/21 19:2	彼女は天才ですね。 嘘をついて人を喜ばせるなんて最高の嘘ですよ。 結果、何だかんだで付き合ってる展開も好きです。

mu 1/22 2:10	気になる男子はからかいたくなる 好きな彼はいじめたくなる 最後の一行がいいですね その後の二人の様子が目に浮かびます。
やむ 1/26 15:53	何か起きるだろうという期待と、どきりとさせる展開がよかったです。4月1日をこれくらい楽しみたいですね

ＴＯＰへ

センサー

総合順位：3位
合計ポイント：33 Point
作者：輝
作者コメントを読む

十にもならない日の記憶。
母と妹と三人、箱根のロープウェーに乗った。
駅に降り立つとすぐに、人だかりが見えた。
にこにこ顔のおじさんが宝石すくいの呼び込みをしている。
砂の中からきらきら光る小石をすくいあげる光景に、妹と私は吸い寄せられる。
そのとき、母にぐいと手首をつかまれた。
「だめ。」
「なんで？宝石がもらえるんだよ。」
口をとがらす私に、母は言う。

「いい？ああいうのにひっかかっちゃだめ。小さな石をもらって喜んでたら、大きいのを買わされちゃうんだから。」

びっくりした。
でも、そう言われた後でおじさんの笑顔を見上げると、何だか胸がざわざわっ、とした。嫌な感じだった。

顧みるに、母からはこの類の教えをたくさん受けている。
いわく、
わーい、『当選しました』って書いてあるよ。(ダイレクト・メールを見て)
　　「応募もしてないのに何が当たるっていうの。タダより高いものはないよ。」
10円、入れてきてもいい？（街頭募金を見かけて）
　　「やめときなさい。〇〇を救う会なんてほんとにあるかも怪しい。自分の財布に入れてるかもしれないよ。」
あのさあ、スカウトとかされたらどうする？（タレントの「渋谷でスカウト」発言に）
　　「あるわけないでしょ。ヘンなビデオにでも出されるのがオチ。」

こうやって育てられた私は、ニセモノを見分ける力を着々とつけてゆく。
甘い言葉やうさん臭い親切に出会うと、あのロープウェー駅で感じたざわざわっとした感触がよみがえってくれるのだ。
とはいえ、この“ニセモノ・センサー”、いつでも正確に働いてくれるわけではない。
大学に入ったばかりの頃、新宿でキャッチセールスにひっかかりそうになった。
田舎出風の純朴そうなお兄ちゃんに気を許したか、何とビルの一室にまでついて行ってしまったのだ。
幸い、お金もないし欲しくもないと正直に話して解放されたが、

身ぐるみはがされても襲われてもおかしくない状況だったわけで、
怖いわ恥ずかしいわで母には今もって話せないでいる。

このキャッチセールス事件は「未遂」で済んでいるものの、実害を出したこともある。
フランスでの話だ。
田舎の修道院を訪ねたところ、手前に小さな駐車場があったのでそこに車を入れた。
すると、先に停まっていた車の中からひとりの男性が出て来て、2ユーロを払うようにと言う。
ああ、駐車料金ね、とすぐに手渡した。
小一時間後、修道院の見学を終えて戻ってくると、新たに一台の車が入って来た。しかし、お金を払う気配はない。
さっきの駐車場係は何をしているのか、と見れば車ごと消えていた。
おそらくあやつは近隣住民で、ふらりとやってきては小銭を稼ぐのではないか。
男の自然な動作に加え、２ユーロという如何にも、な額にすっかりだまされた形。かえって爽快ですらあったが。

そんなわけで、母譲りのニセモノ・センサーは、時として誤作動を起こす。
純日本製であるからして外国では通用しないことも多く、
不必要な時に大音響で鳴ってみたり、鳴るべきときに沈思黙考したりする。
文化の違いや国民性、個体差の大きさに対応しきれないのだろう。
世界レベルのMade in Japanとすべく、粛々と改良に努めてはいるのだが、まだまだ。
さらに言えば、このセンサー、色恋関係も開発途上だ。
「着地点」を知っているだけに、母のセンサーはアテにならない、というかしたくないような。
こればっかりは、ニセモノをつかまないよう自力でなんとかするしかない・・・か。

母も還暦を迎えた。
「オレオレ詐欺、うちに息子はおりません」
電話横にお手製のポスターを張って、ご自慢のセンサーの経年劣化と日夜戦っている。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
みつきんぐ 1/7 17:31	すばらしいお母様ですね！ なかなか外国での判断は難しいですよね。 確かに、色恋関係に対してのセンサーは自分で開発するしかないですね。
contax139 1/8 21:43	最後の一句が効きました。 ニセモノ・センサー＞騙されたことに気付けるだけすごいと思います。
ノエ 1/8 23:3	ニセモノセンサーは時として、全てを遠ざけてしまうことになるかも。 騙されるとわかって、騙されるのも楽しいものだと思いますよ。。
ほろほろ 1/10 0:51	流暢な語り口で最後までぐいっと読ませる文章ですね～。良い！ センサーというにはどこか抜けている母センサーと、 本来物騒なネタはなずなのに、どこかほのぼのとした展開でお話が進む所が 妙にマッチしていて、 そこに作家性を感じました。 この書き味、大切にすると良いと思いますよ。

あお 1/11 18:12	幼い頃にこういう詐欺の実態を知らなきゃいけないことが悲しいです。といっても知らないまま大人になったら困るわけですが。。 疑い深くなりすぎて本当の人の好意に気づかないこともあるのかな、と思うと寂しいです。
プーギン 1/12 6:4	教育の割にはだまされやすいような・・・。 だまされて楽しいときも、時にはありますよね。お母さんも標語をはったりして、「今か今か」と待ち構えている感じがして、実はかけひきを楽しんでいるのでは？ 楽しく読めた文章でした。
わがし 1/13 17:26	ああっ、これはとても面白いっ。 文字の打ち間違いをばんばんしてしまうくらい面白いですっ！ タイトルを、ニセモノ・センサーとしてほしかったー！ そしたらもっと早く読んだのに。でもとても好きです。花丸な感じ。
ひぃ 1/14 12:28	母親の教えがどこか疑心暗鬼に近いようなイメージもあったけれど、書く方のおかげかふんわりと流れていきました。 最後の行について、この母親に「オレオレ詐欺」の電話がかかってきたら一体どんな応対をするだろう。ちょっとだけそこを見てみたい気も…。
茜 1/15 11:52	お昼のワイドショー大好きなお母さんを想像しました。 なぜか、「オレオレ詐欺」には気をつけていてもちょっと変化球で「私私詐欺」になるところっと騙されかねないような気がしてしまったり・・・作者さんのお母さんごめんなさい。 ただの教えじゃなくて、実際お母さんが撃退しているようなエピソード、たとえば後日街頭募金が偽物だったというニュースを知ったりなんかすると「お母さんすごい！」という信頼度も上がったでしょうし、一方で働かないときのコントラストにもなったんじゃないでしょうか？ 色恋センサーのお話は蛇足のように感じました。唐突な気がしたので、これはなくても良かったかと。あるいは、色恋センサーでもコラムひとつ書けそうですよね。
Begonian 1/17 16:23	オレオレ詐欺じゃなくて逆オレオレ詐欺ならやったことあります。 何度も間違えてかけてくる人が居たのでいい加減ウザくて三回目ぐらいに「もしもし？あぁ、オレだよ、オレ」って。 それ以来かかってこないようになりました。めでたしめでたし。 内容はすごくいいと思うので、もう少しレイアウト、細かいところですが、気を配ったらいいと思います。 読点で折り返すのはちょっと座りが悪いですし、母の教えを列挙した段落もなんだがぐしゃぐしゃしてる感じです。
シマエナガ 1/17 16:57	ニセモノの話をネタに、お母さんへの愛情を語っている文章のように感じました。文章にも臨場感があって、微笑ましく感じつつ、納得させられます。 　特に最後のパラグラフは何とも印象的です。
316L見習 1/17 20:45	「着地点」と「オレオレ詐欺～」この2つの文章に自然と笑みがこぼれてしまいました、特に前者、失礼でしたらすみません。 うちの母はこういう点ではまずだまされる方だと思います。「だまされるのは怖いけど、気づかなきゃそれはそれで幸せなのよきっと」とか笑顔でいいますからね。私もおそらく生活全般についてはこの類の人間ですね。…近いうちに、センサー仕入れに行きます。
Azalea 1/18 0:19	人はまず疑ってかかれという基本ですね。（違うか？） ニセモノ・センサーという、わかりやすい表現を うまく織り込んでおられて、読みやすくわかりやすい話を展開されていて どんどん読み進めることができました。 残念な点は、最初に書いたように、人は疑えみたいに 思えてしまった点でしょうか。 ほかの方も言っているように、真贋がどうだったかみたいなものも 話に入ってくると、もっと広がりがあったのではないかと思いました。
hanson 1/19 19:26	10円、入れてきてもいい？（街頭募金を見かけて） 　　「やめときなさい。〇〇を救う会なんてほんとにあるかも怪しい。自分の財布に入れてるかもしれないよ。」 この辺まででは、”母”はなんかすごい疑り深い人だなって印象でしたが、ニセモノ・センサーという言葉を使うことで、なんか親近感が湧きました。 そのあたりが上手いと思いました。

parakeet 1/19 23:46	面白いですね～。 そして、センサーは経年劣化するのか（笑） 電話横にポスター張るのもどうかと思うけど（爆）
Eisen 1/20 21:17	さらっと書き流したような独特の味に、筆に親しんだ年月を感じさせられますね。 お題「偽」の重さのせいか、毒々しい作風の多い今回のコンテスト。その中にあってこの作品、人を疑うということをテーマには置いているものの、愚痴っぽくならずにさらりさらりと進んでいきます。ユーモアを交えての語り口がとっても素敵。 （この「愚痴っぽくならずに」が大切な気がします）
るらら 1/20 22:44	最後の3行に好感が持てます。 母親の教えを受け継いでいることも。
てん 1/20 23:20	これ、よくわかります。 母がかなりこういうことに敏感で、私もしっかりセンサーを受け継いでいるつもりです。 最後、センサーの経年劣化とあってギクリとしました。 先日母の姉の家を訪れたときに、電話のところに詐欺に気をつける旨のメモがありました。 そうですか、母（のセンサー）も経年劣化するんですよね・・・。
unknown 1/21 3:20	軽快な文章で非常に楽しく読めました。 私も母親から同じような感じで、「騙されちゃいかん」ということを教わりました。 おかげで今ではテレビを見ながら、タレントの一言一句について 「それはウソだろう」「これはなんか裏があるわ」 と指摘してはニヤニヤするような家族になりました。 …と書くとなんだかいやらしいのですが、これはこれで楽しいのですよ。 他の人と一緒の時にこの癖が出てしまうと困りますけどね。
す氏 1/21 5:47	素直に面白いです。未遂のものそうでないものの話が上手く取り入れられていて詠みやすかったです。 確かに母からは色々と教えられるものです。 しかし、私は騙せ安そうなのか池袋駅前でしつこく寄付を要求されたことがあります。(100m位追いかけられました。)いい加減ぶん殴ってやろうかという気持ちを押さえつけた記憶がよみがえってきます。 それにしても内の母のセンサーはどうなんでしょう。いやその前に祖母のセンサーは？
354e14thave 1/21 17:7	僕は北京の空港でやられそうになりました。 空港税を含んだeチケットを既に購入してるのに、へんな通行証みたいなのを買う必要があるという男女二人組み。 それを受け取ってお金を払う前に警察に声かけようとしたとたん、奪い取ってダッシュで逃げられた。
あゆむ 1/21 18:43	輝さんらしい作品ですね。 そのうち、あたしあたし詐欺がはやるかもしれない。 そしたら、お母様は見抜けるのか。 これでメダル２個目ですね。 銅なのは３歩下がってというやつなのかしら？
レロニラ 1/21 19:7	ニセモノ・センサー欲しいですね。きっと信頼性１００％にはなり得ないものなのでしょうけど。 母のポスターは実話ですか？めちゃくちゃ面白いです。
mu 1/22 2:22	少し距離を置いて、さらさらと書いているあたり、とても読みやすく お母様の教えが、作者さんの文章の書き方にもいきているように思いました。 冷静になって物事を判断する、という母の教え＝ニセモノセンサーですね。
あゆむ 1/22 18:10	やっぱり、そのＨＮは彼から借りたのですね。 好きな作家の作風が影響してくるものだと思うのですが、随分と作風が違うのですね。

kunipi 1/22 23:0	＞輝さん 銅メダル、おめでとうございます。 宝石サギ。 １０年ほど前ですが、タイに行った友人の話。 「この石をギンザのミキモトに持っていけば、 高額で購入してくれる。だから、買いなさい」っていうサギ。 ミキモトっていう言葉にまんまと のっかって被害総額２０万円。 バーツじゃないですよ、円です。 高い授業料だったね、という慰めの言葉しか 思い浮かばなかったですが。。 追伸：私も、『錦秋』好きですよ。
輝 1/25 17:16	みなさま、さらなるコメント、感謝です。 ・・・わおっ　このホシにもＭＴ氏を読む方がいるとは！うれしいかぎりです。 近いうちにお茶でも（・・・って新手のナンパ？） 冗談はさておき、おそれおおいＨＮですやね。 訴えられるかもしれない・・・（笑） ので、一応、このＨＮにはもひとつ意味を込めてあるのです。

ＴＯＰへ

交代劇

合計ポイント：32 Point
作者：がらがらどん
作者コメントを読む

「あなたの偽者も増えてきたようなので、そろそろ私の出番です。交代してください。」

「何を言ってるんだ。そっちの方が後に生まれてきたのに、おかしいじゃないか。」

「そんなことは関係ありません。時代は変わっていくものなのです。」

「他の者の偽者も増えてきただろう？」

「ところが、あなたの偽者が最も多いのです。あなたの偽者は簡単に作られてしまうのですよ。」

「何ということだ。人間というものはいつまでたっても愚かなものだ。」

「確かにそうですが、あまり気を落とさないでください。あなたの書いた作品はずっと読み継がれるはずです。」

「そうか。ここは我慢しよう。君の医学の功績も素晴らしいものだからな。では、後をまかせたぞ。」

かくして、千円札の肖像は夏目漱石から野口英世に代わったということである・・・らしい。

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
kirie 1/7 9:29	夏目さん、そんなにあっさり納得しちゃっていいんですか・・・？ まあ、何はともあれ、お疲れ様でした。
みつきんぐ 1/7 17:25	空白の使い方が上手いですね。 このお札の交代という発想が面白い！ 確かに夏目さんがあっさり納得しすぎな感じもありますが。
輝 1/8 18:17	ダメだあああああ　こういうの好きだあああああ 発想が豊かだなあ、とおそれいっております。 最後の　・・・らしい。　　もいい、らしい。（笑）
イッカイアッテナ 1/8 22:20	やばい、一行目で落ちがわかってしまった(涙 いつもなら、こんなに早くネタに気づけないのに。なんか、一日の1割を損した気分。 .....でも、文章云々いわれるまでは、五百円玉のことだと勘違いしていたんだぜ!?っと、せめてせめてもの自分へのフォロー。 うーーん、ところで千円札の偽札が一番作りやすかったんだ。知らなかった。
インギリー 1/9 8:2	イッカイさん それはイッパイさんの偽者？
あお 1/9 13:54	途中で偽札かなってちょっとオチが読めるけれど。。千円札のことかぁって後で分かって面白いです。テンポも良くって読みやすいです。
ノエ 1/9 17:45	わたし、最後まで気がつきませんでした。。 作者にカンパイです。。
貧保 耐三 1/9 22:48	普通に面白い！
大黒様 1/10 15:7	なるほど。おもしろい！
大黒様 1/10 15:8	なるほど。 面白い！！ 海外に行ったときに偽札つかまされるのは困りますね。
わがし 1/13 17:47	面白い。読みやすくてよい。 野口さんというのは、とても遊び人だったそうで・・・・。 （失礼しました）
コーサク 1/14 16:8	読みやすさとネタのうまさとが良く発揮されている気がします。
Azalea 1/15 1:20	やられた。発想力の勝利ですね。 これで完結しているのでなにも言えません・・・。 最後の一行まで分からず、 もう一回読み直していると、負けたなあと思ってしまいました。
けっちゃん 1/16 23:42	夏目漱石の偽者よりも、透かしもホログラムの入っていない国のお札を偽造すればいいのに。。。
ほろほろ 1/18 3:8	ふはははは、くだらな〜〜い！！ 肩の力をすっかり抜かさせてもらいました。
まち 1/18 14:36	何のことやろーって読みながら思っていて、空白の後の最後の一行で「あー」と気づき、でもう１回一番上から順に確認していった次第です。2回読ませる作品でした。

kunipi 1/19 19:22	この発想がすごいと思います。 「偽」がテーマなので 偽札というのは、ある程度予想していたのですが こうくるか！と。 作者さんのアイデアに脱帽です。 で、私はこのコラムを読んで 改めて千円札が野口英世だったことを 再認識ました。 面白かったです。 あ、ちなみにウンチクですが 日本国の紙幣を外国で偽造しても 日本国の刑法で処罰されますよー。
スマイリー 1/20 11:22	お札の人物の会話なんてとても面白い作品ですね。お札に人物の顔を印刷するのは、偽造されたときにその表情が微妙に変わるので真贋の判定がしやすいからと聞きました。そうだとするとお札の人物像の表情も「笑顔」を刷ってはいかがでしょう。
でもどり 1/21 0:33	さぁ、この二人はだれでしょう？ とでも言いたげな空白が好きです。 テンポもいいし、最後の一行だけで背景も浮かんできましたし、 マウスでスクロールさせるのも楽しめました。 極上の一品です。
354e14thave 1/21 17:8	アイディアがいいですね。 やや空白が多すぎた感じはしましたが。
mu 1/22 2:46	おもしろい！
イッバイアッテナ 1/26 18:54	うーーん、最後の空白は計画的につけたものですかぁ。 そこは、ちょっとやりすぎじゃないかなぁって思います。 でもでも、二つを並べて浮かんできたアイディアっていうのが、ほんといいなぁっと。 ふと浮かんだたわいもないアイディアを、皆にも共有してもらえるのがコラムランドのいいところだなぁっと思います。

ＴＯＰへ

僕も偽物サンタクロース

合計ポイント：26 Point
作者：go19
作者コメントを読む

ついこの間、幼稚園から帰ってきた息子が僕に向かって、興奮気味に「幼稚園にサンタクロースが来たんだよ」と報告してくれた。僕は彼に「そのサンタクロースはニセモノだよ」と告げた。

妻は、子供の夢を壊すようなことを言うなと苦情を述べる。けど、僕は子供に嘘はつかないことにしているのだ。僕はさらに「本物のサンタクロースは赤い服なんか着てないし、白いひげのおじいさんでもない、そりに乗って空を飛んだりもしない。サンタクロースはみんなが寝てる間に来るから会うことはできないけど、クリスマスには必ず来るよ」と続けた。僕は嘘はついていない。

12月24日の夜、子供たちが寝付くと、僕はそっと寝床を抜け出す。そして、予め子供たちに買っておいたプレゼントを枕元に並べるのだ。
子供たちが目を覚ますと、寝入るときには無かったプレゼントが、魔法のように枕元に出現している。子供たちは顔を輝かせて「サンタクロースが来たんだよ！」と喜ぶ。

子供たちがもう少し大きくなって、僕の小細工に気付くときが来るかもしれない。彼らはきっと少しはがっかりするんだろう。もしかしたら、僕が嘘をついていたと思うかもしれない。けど、僕は嘘をついてはいない。彼らは、一度は僕のことを嘘つきだと思ったとしても、いずれは嘘じゃなかったことを理解してくれるだろう。

あのクリスマスの日、確かに本物のサンタクロースが居たことを、大人になった彼らが理解する日がきっと来ると信じている。大人になってサンタクロースの真実を知ったとしても、本物のサンタクロースが居なくなるわけじゃない。

もちろん、夜中にそっとプレゼントを並べている僕も、ニセモノのサンタクロースだ。
目が覚めてプレゼントを見つけたときの驚きと喜び、その嬉しい気持ちこそが、本物のサンタクロースなんだと、僕は信じている。

何年か前のクリスマスに、眠っている妻の傍らにそっとプレゼントを置いたことがある。目を覚ました妻は、とても驚いた様子で顔を輝かせて喜んだ。幼い息子に「ママにもサンタクロース来たよ！」と、興奮気味に報告した。彼女は当然、プレゼントを置いたのが誰なのか知っている。けど、その日確かに彼女には本物のサンタクロースが来たのだ。

そして、その妻や子供たちの笑顔が、本物のサンタクロースからの、僕へのプレゼントだ。

本物のサンタクロースは、コーラの宣伝なんかしないし、フライドチキンの街頭販売もしない。もちろんNORAD に追跡されたりなんかもしない。

我が家では「サンタクロースは良い子の所にだけ来る」とか、「良い子にしてないとサンタクロース来てくれないよ」とかは、絶対に言わない。一般に子供はみんな良い子だ。少なくとも我が家に悪い子は居ない。

ついでにゆーと、「ママの言うこと聞かない子はガチャピンに食べられちゃうよ」とか、「泣き止まないとなまはげが来るよ」なんてことは、妻も僕も決して言わない。妻と僕は、子供に嘘はつかないことにしているのだ。

了

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
ピチョット 1/9 11:41	優しいパパさんですねぇ。うっかり空白にきづかず最後までよまずに閉じてしまうところでした。もう少し空白はせまくても・・・。偽る＝だますということで子供をだまさないけど嘘ではない嘘をつくんですよね？？？ちなみにプレゼントはなんでしょうか？興味津々。
わがし 1/9 18:38	幸せそうなおうちだ！ 私は小さいとき、サンタさんとかは信じない（というか、そういうことをしないうちだった）子供だったので、なんか、こういうおうちに育ってみたかったと思います。
ノエ 1/9 20:34	いやぁ～、共感。。 ところで、コーラ、ＮＯＲＡＤという単語に、マニアックな個性を垣間見てしまいました。。 サンタクロースの赤と色の服って、もともとコカコーラの宣伝用の衣装なんですよねぇ～。。 ケンタッキーのを出したのは、カーネルおじさんがサンタに似ているから？？？
ハイパー・ワイハー 1/9 22:46	奥さんにもって・・・ステキだと思います！
あお 1/11 18:20	パパの心理は分かりますが、子供って意外と早い時期からサンタが実在しないことを知っていると思う。幼稚園にもなってまだ親に気を使ってる訳でもなく本気で信じてるんだったらちょっと心配したほうがいいかも。。
sum1 1/12 1:16	いい話ですねー。 赤白服の爺さんや、プレゼントをそっと置くパパさんがサンタクロースなのではなくて、そうした夜の茶番劇の結果得られる「幸せ」こそが本物のサンタクロースだと信じることが大事ですよね。
ローズ 1/13 13:12	いつまでもサンタクロスの存在を信じています、自分の夢を信じているように。
ひぃ 1/13 13:49	「本物のサンタクロース」はいいなと思うのだけれど、何度も繰り返される「嘘をつかない」に妄信的な恐ろしさを感じてしまい、すっと入ってはきませんでした。 「嘘をつかない」のスタンスは悪くないと思いますが…。
あゆむ 1/14 14:18	知らないのですか？ 恋人が本物のサンタクロースだってことを。
ノエ 1/15 9:27	↑あ、それ、日本限定ですね。。（ユーミンも日本人？） 外国の場合、クリスマスは家族のイベントだから、やっぱりお父さんかぁと思うんですよ。。
クリリン 1/15 22:58	素晴らしいポリシーだと思いました。 しかしそうすると子供達のサンタクロース像はどんなものなんでしょうかね。 サンタクロースを描けと言われたら普通の人間を描くのでしょうか。 気になりました。
けっちゃん 1/16 23:47	この話は全部嘘で、実は全部ま逆・・・ なんてことはないですよね。
鳥 1/17 11:48	いいお話ですね。 「その嬉しい気持ちこそが、本物のサンタクロース」、そうなのかもしれませんね。 ところで「NORAD に追跡されたり」というところがツボに嵌まりましたw
Begonian 1/17 15:12	空白が開き過ぎなのは一旦置いておくとして。 綺麗を終わらせるなら第二段落まで、だと思うんですよ。 第三段落はどうなんでしょ。なんだよまだあったのかよ、って思っちゃいました。

316L見習 1/17 20:35	いいですね。私も心の底から疑いなくいわゆるサンタクロースを信じていた頃がなつかしいです。そういえば中学生の頃、兄と相談して両親の枕元にプレゼントを置いたことがありましたね。「小さなサンタより」とかなんとか書置きして。今思い出すと本当に恥ずかしいですが…。 本文とは関係ないですが、一つお願いしたいのは、嘘だと教えた上で、 「これは誰にも言っちゃあいけないよ。父さんと～だけの秘密な」 と笑顔で付け加えてほしいことです。彼が幼稚園のお友達にそのことを伝言ゲーム的に少々歪めて伝えてしまった結果、純粋に一般的なサンタを信じているかつての私のような子供が少なくなってしまうのもちょっと悲しいですから（笑）
Julio 1/19 10:26	親子のやり取りや奥さん、子供の喜ぶ顔が目に浮かぶような文章でした。ただ、ついでにという最後の部分に関しては、子供に嘘をつかないという信念を冒頭の部分で述べられているので、あえて最後に例を出してまで言う必要は無かったのではないかと思います。
parakeet 1/19 23:9	僕もBegonianさんと同じ意見で。 第二段落で終わり、が良かったなぁ。
いそしぎ 1/20 20:0	わたしは結構大きくなるまで、サンタはいるものだと思っていました…。 空白自体が「偽」結論のための演出なのでしょうか。アイデアは面白いと思いました。
kunipi 1/20 20:20	おとうサンタ。。。ですね。 やさしい気持ちになれるお話ですね。 なまはげは、リアルタイムで わらってしまいましたが。。 いや、笑ってはいけないのですが。。。
pooh 1/20 23:20	幸せそうですね。 私は7,8才のごろからサンタクロスの真相が知っていて、このような幸せを感じるのは僅かの何年しかないですが、ちょっと残念です。
Eisen 1/20 23:23	空白。パソコンによって違うのかもしれませんが、ウチのパソコンで見る限りでは、画面のほぼ全てが白で埋め尽くされるようになっていました。 私のスクロールの早さだと、それがなかなかに素敵な効果を生んでくれました。いったん画面が白くなり、お？っと思ったところに文章が表れて。タイミングが珠玉。 でも、やっぱり人によるのだろうな。無難に控えめにしておいたほうが良かったかも知れません。 その、スクロール後の文章。子供たちの方に向いていた目が、不意に自分の方に向かい。 笑顔が、僕へのプレゼントだ。 視点を変えて、意外で素敵なところにストンと落としてくる、その力量がすばらしい。 ただ、他の方のコメントにもあるとおり、二回目の空白以降は蛇足だったかも知れません。「偽」を強調したいがためにだけあるような。 ガチャピンのくだりは、個人的には大好きなのですが！
daikonsalada 1/21 0:5	子供に嘘をつかないことにしているのはとてもすばらしいことだと思います。 私も両親に騙されたことを思い出すとちょっと悲しかったです。
茜 1/21 1:37	子供がサンタクロースを信じるのは、子供が純粋だからじゃなくて、大人がそう教えるからです。 このお父さん、いいなあ、と思いました。 サンタさんからはうれしくて、お父さんからは嬉しくないなんてこと、ないですよね。むしろ旦那さんからって分かってるからこそ、奥さんは喜んでいたのだと思います。 偽者だけど本物のサンタというのが、すんなり入ってきて良かったです。
unknown 1/21 3:40	とても素敵なお話だと思います。一貫して「子供に嘘はつかない」という点が貫かれているのが良いと思います。 しかし、なぜ段落間に大きな空白を取っているのかが分かりません。 大きな空白があると、私はその後に突拍子もないどんでん返しが来るように感じるのですが、 話の流れはどの段落も変わっていないのですよね。そこに違和感を感じました。 それと最後の段落はやはりいらないかなと思います。 なんだか小ネタでオチをつけたいが為に加えられたように感じました。
354e14thave 1/21 17:10	なんとなく空白使いすぎな気がします。 でも、子供にうそつかないのは個人的には賛成です。

レロニラ 1/21 19:11	話自体はすごい面白いしステキです！ ただ構成が勿体無い気がします。ピークで止めておいて欲しいのに長々と続いちゃってる。
あゆむ 1/26 19:18	ユーミン学派の主張もｇｏさんの主張と矛盾しないと思いますよ。 結局サンタはいないけどいるということなんですよね。 子供にとってはお父さんまたはお母さんで、大人にとっては恋人ということですね。 わたしは子供でも大人でもない年齢なので、わたしにとってのサンタは今はいません。
go19 1/27 5:15	あゆむさん コメントありがとうございます。 矛盾してないことには go19 も同意です。その通りですね。 「いないけどいる」サンタの姿を誰に映すかは、観察者次第なんでしょう。

ＴＯＰへ

新たなビジネスモデル？

合計ポイント：16 Point
作者：かぴばら
作者コメントを読む

昨年は、日本中が、そして特に北海道が食品偽装に揺れた一年だった。
ミートホープ・白い恋人…

さて、この北海道を代表する銘菓の白い恋人だが、昨年11月に販売を再開してから飛ぶように売れているようだ。
販売再開直後はお土産店などに行列ができ、ものの10分で売り切れてしまったとのことである。
たまたま私も、年末に北海道にいく機会があり、せっかくだから白い恋人をお土産に買って帰ってネタにしようと考えていた。
しかし札幌市内のデパートでは整理券を配布しての販売を行っており、私が行った午後には、入り口にでかでかと
「白い恋人　本日分の販売は終了しました」
の張り紙が。
そして新千歳空港でも、どのお土産店舗も白い恋人の棚が売切れですっからかん。

報道によると、製造元の石屋製菓は、正月返上で白い恋人の生産にあたり、販売数は同時期前年比の３倍とのことだ。

そんなことを見聞きしていると、
「石屋製菓は、偽装発覚により結果的に儲かるのではないか？」
と思ってしまった。

たしかにこの偽装問題で、石屋製菓はブランドとしても、経営面においても、大きな痛手を負ったはずである。しかし、この人気が長続きすれば、経営面に関してはプラスとなってしまう可能性はある。
そこで私なりに、現在の白い恋人の人気の要因を考察してみた。

　①「チョコレートなら大丈夫なのに」の同情意識
そもそも私たちの意識として「赤福なら捨てるけど、白い恋人なら賞味期限を多少過ぎてても食べれそう」というものがあるだろう。偽装といっても、そんな大したことではないのに、こんなにたたかれて可哀想、と内心思っている人も多かったのではないだろうか。その上、企業側がこれだけ対策をとっているのだから、心から安心して食べられると思ってしまう。
　② 話題性のあるものに飛びつく日本人の性質
私がそうであったように、怖いもの見たさ・話題性で買い求める人は多い。大阪桐蔭・中田の発言で注目されたり、テレビなどで売り切れ続出と報道されると、余計に買ってみたくなるものだ。
　③ 北海道を応援したい
白い恋人は北海道の象徴と言っても過言ではない。ただでさえ疲弊しきった北海道経済にとって、白い恋人問

題は大きな痛手である。応援のために買い求める道民も多いだろう。
④ やっぱり白い恋人はおいしい

こんなことを考えていると、こういった要因が期待できる企業においては「偽装発覚ビジネス」が成立するのではないだろうか、という不安が頭をよぎった。
・ まずこれなら許されるだろうという程度の些細な偽装をでっち上げる
・ マスコミが飛びつく
・ 企業が大げさに反省する
・ うまくやれば、消費者の同情・共感を呼ぶことができ、企業にとってよい宣伝となる
ただしこのビジネスモデルは、皆が白い恋人などの問題を忘れたころでないと適用できないだろう。話題性が大事なのだから。

いやいや、この2007年の反省を基に、各企業がコンプライアンスを徹底し、次なる食品偽装問題が現れないことを切に願う。

作品印刷　　コメント印刷
作品に対するコメントを下さい。
コメント登録

投稿者	コメント
輝 1/8 18:15	これを読んだ本日、白い恋人を事件以来はじめてもらってしまいまして、 これは、コメントをせよ、というお告げかなあと（笑） 偽装発覚ビジネス！！ 発想はおもしろいのに、いかんせん仕立てがかたくるしいっ。 ドラマ仕立てやら、くすっとなるけど深遠に、やらいろいろ展開できそうに感じました。
ノエ 1/8 22:29	まともな経営者なら、そう思ってもしないんじゃないかぁ～と思ってしまいました。。
ゼットン 1/9 16:18	芸能人のスキャンダルを使った売名行為と同じ原理ですね。 朝青龍が今後どうなるか気になります。
インギリー 1/9 17:36	そこまで消費者はバカじゃないと思います。 事件が発覚した時の責任者の謝罪と、素早い的確な対応に納得したからではないでしょうか。
イッサイアッテナ 1/9 22:23	あははｈ(乾いた笑い お正月、祖母と母の前が、まさに白い恋人が売り切れていたという話をしていたので、ヒヨコサ〇レもわざとそういう事件起こしたら、すごく売れるんじゃね？っと言って、すごく怒られました。 でもでも、簡単に煽るマスコミと簡単に煽られる国民は、その性質を商品に利用されても仕方ないんじゃないかなぁっと、少し思うのでした。……もちろん、信頼のないようなことをしなきゃいけない、企業が一番ダメです。
貧保 耐三 1/9 22:47	少なくとも株主さん達は納得できないでしょうね。
ハイパー・ワイハー 1/9 23:5	でも、そんな話題だけで売り切れてしまうようじゃ、まだまだ消費者はバ…（自重）
わがし 1/9 23:33	Macユーザーを考慮にいれてくださるとすごくうれしい・・・。 たぶん、まるいち、まるに・・・かなんかだと思うのですが、 機種依存文字（と言うのか？）で、よめまへん。 がくん・・・・。 がくんときたので、あとでもいっかい読み直しますっ！

大黒様 1/10 14:55	僕もmacですが、まるいち、まるに、見えましたよ。。。 タイミングが重要そうなビジネスですな。
紫雲 1/10 21:18	このビジネスモデルがばれたらその会社はどうなってしまうんでしょう。 また宣伝になるんですかね・・・
King　Power 1/10 22:40	白い恋人の会社の新しい社長の話しをテレビで見ました。 スキャンダルだけで売れる社会では無いと思います。
はつね 1/11 0:54	不祥事は上手く対応すれば逆に企業イメージを高めることもできるということですよね。松下電気のストーブのように。ただ今回の場合は ・白い恋人という北海道の定番お土産であったこと（元々の売上が高い） ・マスコミが騒ぐ ・普段買わない人も話題のために購入する ・販売が再開したばかりでまだ品薄である という諸条件が重なった結果、このような騒動になったんじゃないかと思います。 　他の方もおっしゃっていますが、例えば船場吉兆や赤福がすぐに元に戻ることは難しいと思います。誠意もありませんでしたし、そもそも定番というほど有名でもないので。地元民ですが、そんなに食べないですよw 　偽装発覚ビジネスを展開するなら今だけじゃないでしょうかね。今ならダメな会社と比べて「あそこは素晴らしい対応だ」ということになりますが、後３年もしたら多分叩かれるだけじゃないかと思います。
わがし 1/13 16:48	これ、文章の軽さがいいですね！ がくんと来て、再度読み直しました。 ブラウザが悪いのかな・・・。 私も白い恋人は好きです。そして北海道も好きです。
みつきんぐ 1/14 13:2	消費者の立場に立って考えた場合、そういうことをされても許せるのか、ということを考えると、このビジネスは受け入れられないはずなんですよね。 食品偽装が起こること自体、企業側の意識が低いというかなんというか… 難しい問題ですよね。
sum1 1/15 1:53	この話でいつも思うのは、「Ａ社で偽装が見つかった→同業他社も偽装していても不思議ではなくなった→Ａ社は対策を行い再販→唯一対策を行ったＡ社は他より安全→だからＡ社のものを買うべき」という、消費者心理の風桶論法です。（ある意味、業界に対する究極の不信ですが。） 偽装発覚ビジネスもこの論理で上手くいくはずですが、それは同業他社に乗り換えないという前提に成り立っているわけで、他社がそこまで信頼されていないからといって自らの信頼を貶めることは、業界そのものの衰退を招くだけだと思います。 （白い恋人、食べたいなあ・・・）
Begonian 1/17 15:49	そもそも賞味期限なんていうあやふやなものに関して偽装も何もないと思うんですけどね。 そんなんで大騒ぎできる人は賞味期限切れてるんじゃないかと思ってしまいます。 ……おっと、矛盾してますね。こりゃ失礼。 さて、いささかインパクトがない作品です。 偽装発覚ビジネスについて、もっと深く掘り下げたら読み応えが出て来て非常にいい感じになるんじゃないでしょうか。 あるいはいっそ、これでもかってぐらい強烈に皮肉るとか。
シマエナガ 1/17 16:55	誰もがふと思いつくようなことが、きちんとした文章で書かれていると思います。理屈が丁寧に展開されているので、考えすぎ！と思いつつも、もしかしたら、という気分にさせてしまうように感じました。
ほろほろ 1/18 3:30	販売再開後、不二家のミルキーを買占めに行った僕の行動原理から察するに、 「お菓子は替えが利かない」っていうことが大きい気がしましたね。 中毒性もあるし、「似たものではなく、同じものが欲しい」という欲求が、とても強かったのを覚えています。 この点を踏まえ、このビジネスモデルは酒・たばこ業界で有効だと思いますが、いかがでしょう！

茜 1/19 23:33	＞ほろほろさん。 あたしもカントリーマアムの復活がみょーにうれしかった人間です。「賞味期限切れの材料を使った恐れがあります」とか注意書きつきで安く売ってくれたらきっと飛びついたと思うあの頃。 たぶん、「白い恋人」って「あれば食べたいと思う人」ってのが全国に眠ってると思うんですよね。それがニュースで取り上げられて、なんか見てると思わず食べたくなったり・・・・・ 守り続けたおいしさ、みたいなものに救われたのかな？とも思います。 なんにせよ、間違いはちゃんと謝って訂正するって大事ですよね。
parakeet 1/19 23:56	ほろほろさん、茜さんがおっしゃっているように、 ④やっぱり白い恋人はおいしい が重要なポイントだと思います。 という同じくカントリーマアムの復活が嬉しかった人。 白い恋人もお土産でもらって食べました。 無くなると食べたくなるこの消費者心理。 いやぁ、北海道が実家の友達って大切ですよね♪
Julio 1/20 0:21	石屋製菓に関する気付き、ビジネスモデルへと展開させた構成は大変面白いと思います。ただ、考察の部分に関して言えば、他の偽装問題を起こした企業のケースにも少なからず当てはまる部分もあるような気がして、白い恋人だけが人気を回復出来た理由としては少し弱いのではないでしょうか。
プーギン 1/20 8:55	2007年を象徴した漢字「偽」。その根拠になったできごとをきちんと整理してくれていると思います。そして誰かの心によぎるかもしれない新しい「ビジネスモデル」。それを防ぐには、個々のコンプライアンスしかないんですよね。そこが問われているのです。
スマイリー 1/20 11:55	作者は「新たなビジネスモデル？」を提示することにより、企業経営者の皆さんに「企業がサステナブルであるためには企業経営は正攻法しか通じない。」というメッセージを送っているのでしょうね。
かちかち 1/20 13:54	先週、成田空港で白い恋人を見かけました。わざわざ、「白い恋人」と目立つように張り紙されていたので、海外みやげとしても相当売れているようです。私も、一瞬、買おうかなと手に取ったのですが、その時の気持ちは、まず②がきて、次が①でした（結局買いませんでしたが）。買い手の意識調査をしたら面白い研究成果が生まれるかもしれません。
mu 1/22 2:30	悪いニュースも、TVにあれだけ映るとなると、ひっくり返して宣伝になり得ますよね。 賞味期限の偽装が、そんなに気にならなかった私。 『もったいない』という日本人の美徳が悪い形で出てしまったことが残念です。 この問題が、たくさん作ってきっちり捨てる、ではなく、売れる分だけつくり、無駄を出さない、というような生産システムのよい改善につながっていくことを祈っています。
やむ 1/26 15:57	この事件の話を聞くとそういうことを考えてしまいますよね。 でもなかなか想像の範囲を出ない話になってしまいますが。。

ＴＯＰへ

オゥ　ジャパニーズ

合計ポイント：13 Point
作者：インギリー
作者コメントを読む

「こんにっちは」
「こぅんにちは」
「こんにちは」
「ようこそ、いらっしゃい。楽しんでいってね」

師匠と世ばれる立場の夫には、外国人、日本人を取り混ぜ１０人ほどの弟子がいる。故郷から遠く離れ寮やアパートに暮らす彼らを招き、ホームパーティーを開くのが年の瀬の行事なのだ。

日頃、家庭料理と縁がないであろう彼らに、これぞおふくろの味！を感じてもらいたい。特に、外国から来た人には日本の食べ物を知ってもらいたい。そうして私が年末の恒例行事を繰り返すうちに行き着いた献立は、ちらし寿司、けんちん汁、サラダであった。
ちらし寿司のトッピングは、まぐろの漬け、イクラ、焼き穴子、さやえんどう、錦糸玉子。けんちん汁の具は、人参、ごぼう、茸、レンコン、里芋、蒟蒻、豆腐、油揚げなど。そして、生野菜に醤油味のドレッシングをかければ和風サラダの出来上がり。大皿に握り寿司でもなく、派手なオードブルでもなく、鶏の丸焼きでもなく、普段夕食に出すのと同じ料理なのだ。

食事を楽しんだあとはポケモンモノポリーが始まる。モノポリーとはアメリカ発祥のボードゲームだが、それが世界中に広まり、日本ではポケモンのキャラクターを使ったものが出ている。ポケモンは今や世界中に知れ渡っているから
「オゥ、ジャパニーズ！」
となるのだ。こたつであぐらをかきながら英語でルールを説明し、ポケモン印のお金を巡ってゲームは3時間ほど続く。それぞれのお国柄も出て、見ているだけで面白い。いい加減なのが災いして大風呂敷を広げ、すぐ破産する人。いつも適当なのに、なぜかお金が増える人。倹約家がたたって大損する人。着実に財産を増やしていく人。

ゲームが一段落するとクリスマスケーキの登場だ。ケーキは洋菓子だが、スポンジにイチゴと生クリームの丸いケーキは日本独特のものなのである。合間につまむお菓子は、あられ、煎餅、さきいかなどが定番だが、今年は新たに「きなチョコ黒大豆」が加わった。チョコボールだからパッと見は洋風だが、黄な粉味のチョコにくるまった煎り黒大豆となると日本でしか食べられない。

お金のかからない料理とお菓子、そして子どもたちがいつも使っているボードゲーム…。日本人から見たら、ホームパーティーとは名ばかりの偽者だろう。しかし弟子たちは、いつも満足げな顔で我が家を後にする。それは、外国人にとって我が家そのものが立派なパーティー会場だからなのかもしれない。

表通りから玄関まで続く熊笹の小道
瓦屋根

家の裏にある大きな竹やぶ
引き戸の玄関
襖で仕切られた畳の部屋、押入れ、窓には障子
そして、こたつに座布団

親兄弟にメールを出す時、電話で話す時
「私、今日こたつに入ったよ。座布団に座ったよ。ポケモンのゲームしたよ。」
と自慢できるのだ。修行が終わり自国に帰ったときも、それは素晴らしい日本の思い出として語り継がれるに違いない。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
ノエ 1/8 23:51	いい文章ですね。 人とのつながりって楽しいものですよね。。 年に１度や２度海外でホームパーティーに誘われて出かけていきますが、持ち寄りのクラッカーパーティーというのが多いですよ。。 食べながらわいわいするだけで楽しいですよね
あお 1/9 14:11	これは実体験なんでしょうか。温かいパーティーの様子がとても良く伝わってきます。他国の人に伝えようとする時改めて自国の文化の素晴らしさに気づくのかもしれないですね。
みつきんぐ 1/9 16:1	すごく温かい文章でした。 外国の方は、私たちにとっては当たり前のように感じている日本の文化をすごく新鮮に感じてくれますよね。 その様子を見ていると、日本を誇らしく思えます。
きゅうぴー 1/9 18:0	これこそ本物のホームパーティなのではないかと思います。｛偽り｝ではない｛本物」を表現したのはうまいと思います。
貧保 耐三 1/9 22:52	赤坂見附の忍者に行くと外国の人たちが盛り上がっています。 そういう日本の文化にふれて喜んでくれる感じは、私達日本人も喜ばしいことですよね。
vista 1/11 13:43	気持ちが暖かくなるような文章でした。
Azalea 1/13 0:11	本当に生身の体験がないと書けない文章だなと思いました。 こんなことで外国人が日本を感じるのはちょっと意外です。 （ポケモンでジャパニーズっていうのも 　ごくごく一部の人だけという風に思っていたので） 外から見たら偽かもしれないけど中から見たら本物なんだという お題の使い方は、ネガティブに入っていかず とてもうまい使い方だなあと思いました。 だからこそ、暖かさを感じさせるのだなあと。
わがし 1/13 18:56	面白い。ほんわかしていていいですねー。
あゆむ 1/14 14:17	ポケモンやコタツなんかよりあなたの作った料理のほうが印象に残ってるんじゃないかしら。 日本独特なものも作ってるようですし。印象に残ったのがポケモンのカードゲームやコタツじゃ寂しいじゃないですか。 ところで、旦那さんはなんの師匠なのでしょう？

ほろほろ 1/16 7:33	素晴らしいホストさんですねー。 実体験でしか得られないような詳細な描写で、 お招きする側の気遣いの暖かさが存分に感じられました。 せっかくですので、 招かれた外国人のお客さんの反応ももっと詳細に知りたいですね。
茜 1/18 15:32	そういえば、中学のとき英語の授業に来てくれたアメリカ人の先生は、「桃の天然水」がお気に入りだったそうです。アメリカはコーラのもっと甘いようなのが主流で、ああいうのないんですって。 これはこれで日本の文化なのかも、と、面白く思ったのを思い出しました。 ところで、「修行」という言葉が妙に引っかかりました。「師匠」や「弟子」も気になったのですが、マンガちっくな単語が出てきてしまったような。「やがて自国にかえった時も」でも良かったような気がします。いろいろ背景が気になりすぎても困るので、うまく隠す方法があれば良かったんじゃないかなと思います。 こういう素朴なホームパーティー、偽物だなんてあたしは思いませんでした。 むしろ、ホームパーティーってこういうものだと。「安上がりに手軽に楽しく」って大好きです。
parakeet 1/20 0:10	とくに、竹やぶがいい～♪
tkm 1/20 15:41	この奥さんはパーティーのホストとしてすばらしいと思います。全体として物語に抑揚はあまり無かったですが穏やかな場面と相まって読みやすかったと思います。「普段夕食に出すのと同じ」と言いながらちらし寿司の具が豪華なのはさすが師匠の家庭ですね。
Eisen 1/21 1:56	「偽者」という単語は安易に出すべきではなかったようです。非常に嫌なイメージを、強烈に伴っていますから。（「にせもの」「ニセモノ」ぐらいならまだしも良いのかもしれません） ポケモンやショートケーキを「日本のもの」と考えたことはありませんでした。和菓子やお茶が真っ先に浮かんでしまい……。 自分の自国文化への認識の甘さと共に、素朴な暖かさをしみじみと感じさせてくれる良作でした。
レロニラ 1/21 19:18	どこで「偽」とからめるのかと読んでましたが、意外なところで「偽」でしたね。海外のホームパーティって行ってみたいと思いますけど、こんな日本的な楽しみも良いですね。
mu 1/22 2:40	日本の本物の伝統を表現しようと、現代では着ていない着物を無理してきたり、 食べたこともない懐石料理を食べに連れて行ったりするよりも、 日常の暮らし自体が、本物の日本だと思いました。ありのままが一番です。
Azalea 1/23 22:4	メルマガを書いているとコメントしたのは私です。 わがしさんの作品で、そういうコメントをさせていただきました。 メルマガ発行者さんとは！　100号おめでとうございます。 山あり谷ありだったかと思いますが、今後も200、300と頑張ってください。 あと、茶道（か花道）かなあと思いました。 なんとなくそんな気がしただけなのですが・・。 次回の作者コメントが楽しみです。
あゆむ 1/24 1:13	お父様の職業は研究者ですよね？ 理系で家でも仕事ができるのってこれくらいじゃないかしら？ 研究者だとするとインギリーさんとの出会いが気になるところですね。
インギリー 1/24 8:19	＞Azaleaさん ＞あゆむさん さあて、答は何かな。 いろんなご意見が聞けるかと思うと、わくわくします。 大笑いしてます。 皆さんと知り合いになれてよかった～と思います。

インギリー 1/24 8:25	＞Azaleaさん ＞あゆむさん さあて、答は何かな。 いろんなご意見が聞けるかと思うと、わくわくします。 大笑いしてます。 皆さんと知り合いになれてよかった～と思います。
ひぃ 1/25 0:54	師匠という単語からは、武道かなと思いました。「お菓子」のエピソードから茶道は除外してみました。 住居とは別に場所を取って行うもので、日本で閉じてはいないもの。それで日本に基盤がありそう。外国人から見た「日本的」ではないという可能性も。 考えてみたらそんな方向に行きましたけ。どこまであってるか分かりませんが…。次回に期待することにします。 こういう謎的なものにわくわくしてしまう私は一体…。
インギリー 1/25 8:14	＞ひぃさん お友だちになってください。。。 ファンになっちゃいました。 ひぃさんは、うさぎが好きなんですか。 昨日、小学校のうさぎに草を持って行きました。 飼育委員さんは休み時間にお世話するんだけど、時間がなくなったのか、うさぎのところだけ何もしてなくて 私が草を出したら、ものも言わずに頭をつっこんで食べ続けました。行ってよかったわ。 草を食べたら、私の方に甘えてくるの。 「ママ、大好き」って感じで。 子どもにも、そんなこと言われなくなっちゃったから嬉しくて。三日に一度は行くので、小学校では「顔パス」の存在。 本当は名札を首にかけていないといけないんですけどね。
ひぃ 1/25 22:30	＞インギリーさん え？え？ ファンって…？ なんかびっくり。 うさぎが好きというか、なぜか逆なんですよね。 プロフィール（？）に書き込んだのを思いついてから、どうもうさぎのモチーフが気に入ってしまって…。 小学校の頃、飼育係でうさぎに給食室でもらったキャベツとかニンジンをあげていたというのを、その話を聞いて思い出しました。穴だらけの飼育小屋とか。
インギリー 1/27 9:30	ひぃさん 私も小学生の時飼育委員だったんですが 小学校の給食は給食センターで作ったものを運んでくるようになっていたので、給食室から野菜をもらうことはありませんでした。田舎の学校だったので、当番が前の日に草を取ってきたりしてました。農家から藁を分けてもらったり。 今のうさぎはペレットという粒々の餌をもらってます（ドッグフードみたいなの）。給食室の野菜ももらっていますが、学校が休みの時期や給食がないときはペレットだけです。 それで、私が田んぼのあぜや畑に生えている草を取らせてもらって持っていくんですが…今では半分掃除もやってます。 今の小学生は、授業が終わるとすぐ帰らないといけないから（防犯上の理由で）とにかく時間がないのです。ほんの4，5年前までは放課後残って飼育委員の仕事をしたり夏休みに登校してお世話したりできたんですけどね。しわ寄せは弱いもののところへいっています。先生も雑用が多くて、なかなか手が回りません。年末年始も6日間誰も中に入らず…　どうにかしなければいけません。 穴だらけの飼育小屋… うちの小学校も予算カットのおかげで飼育小屋は古くてボロボロだったのですが、今年度20年ぶりくらいに大きなリフォームをしてもらえました。屋根は雨漏りするし、水はけは悪いしで大変だったので直してもらって良かったんですけど。 文部科学省も「命の大切さを教える」なんて言って、もっとやるべきことがあると思うのに。 こんなおばさんが暇に任せて通ってるだけですが、何かの助けになればと思っております。

茜 1/27 18:44	「うさぎ貸し出します」 って看板があったんです。実家の近くに。 ええ、文字通り貸し出してます。母が飼ってるうさぎは期間を無期限延長したうさぎだったりします。 と、まあ、関係あるようなないような話はともかく。 外国に行ってた理由が柔道の武者修行だったらいいなあ、とかあえて無茶苦茶を言ってみます。現実的には教授さんなんじゃないかしら、なんて思うのですが。 ＞日本＝お茶、和菓子 このお話読んだ後で申し訳ないのですが、あたしだったらやっぱりお茶とか和菓子とかは出してみたいです。だってあたしお抹茶も和菓子も大好きですし。 インギリーさんも、散らし寿司やこたつやモノポリーが好きだから、こうして紹介しているのかな、と思うんです。 お抹茶の味は日本人にも知ってもらいたい。 高校の文化祭で先生が「お抹茶って美味しいんだね！」と言ってくれたのが忘れられません。
インギリー 1/27 21:24	茜さん お母さまがうさぎを飼っているんですね。 群ようこさんのエッセイを読んだことありますか。私の大好きな人です。群さんの作品の中に、彼女の母親が出てくるんですが、お母さんがうさぎを飼っている話もあります。「おじさん」という名前のうさぎで、その話がとっても面白いの お抹茶と和菓子 私も、高校生の時から結婚するまで6年ほど茶道を習っていました。茶道を習い始めたのは、お菓子が食べられることもあるけど、あの静かな時間が好きだから。 我が家には、抹茶茶碗も茶せんもあるので、抹茶をご馳走することもできるのですが、美味しい和菓子屋が近所にないし…和菓子も美味しいのは一個100円とか150円とかするでしょ。まだお客さんに抹茶を出したことはありません。 日本人も抹茶を知らない人は多いですね。うちでは子どもたちが小さい頃（3度目の引越しから帰国したころ）から家で抹茶を立ててました。お菓子は、和三盆の干菓子で。 息子の通った幼稚園では作法の時間があって、正座して抹茶を飲んでいたので抵抗がなかったようです。 私としては、日本に住んでいる幸せを感じながら、しみじみ飲むって感じでしたね。 …そっか、お客さんでも干菓子でいいんですね。今年のゲーム大会でやってみようかな。ご意見をありがとうございます。
茜 1/27 23:3	＞インギリーさん 確かに。和菓子高いですよね。美味しいんですが。お抹茶だって安くないですし。 うちの母は醤油饅頭みたいな安いお菓子を買ってきて、抹茶だけちゃんと用意して集会所で近所の子供に体験させてました。ほんの数回だけでしたが。お金のかからなさなら負けません。 群ようこさんのエッセイは読んだことないです。 今度、見かけたら手に取ってみようと思います。

ＴＯＰへ

江戸隠密鑑定人

合計ポイント：12 Point
作者：ハイパー・ワイハー
作者コメントを読む

「うぅむ。こうなったら、奴を呼ぶしかないな。　おい、あの鑑定人を呼べ！」

「殿、もしや…あの鑑定人でしょうか…？」

「そうじゃ！報酬次第でどんな依頼も完璧に遂行するという、隠密鑑定人を呼べ！」

　『殿、私をお呼びかな？』

「なんだ！誰じゃ！！！」

ガラッ！

「江戸隠密鑑定人　ワタナベ・J・トモユキでござる。」

「待て待て待て！　なんだ、その名前の"J"は！おまえは日本人ではないのか！」

「はい、私はハーフなのです。母は韓国、父はインドでございます。」

「なるほど。ところで、早速依頼なのじゃが、この壷の真贋をそなたに見極めてほしいのじゃ。」

「お安い御用でございます。しばしお待ちを…」

・・・・・・・・・・
・・・・

「おい、まだか。そなたがこうして壷を見つめて、３年が経つぞ。」

「殿、たった今わかりました。この壷はニセモノです。」

「おぉ、そうだったのか！して、どのへんがニセモノなのじゃ？」

「ここの焼き目がですね…」

「フムフム」

「さらに壷のふちが…」

「ほうほう」

「そして、この底の部分も…」

「へぇ〜」

「内部の作りはこんなに…」

「なるほど。おぬしは説明がヘタじゃ。全く理解できん。」

「殿、つまり端的に申し上げますと、"作者のサインがない"と、こういう理由なのであります。」

「では、やはりこれはニセモノなのじゃな？うむ、ご苦労であった。」

「殿、今回の報酬として、この壷をいただけませんか？」

「ニセモノの壷か？よいよい、いくらでも持って行け。」

「ははぁ〜、ありがたきしあわせ。それではこれにて。」

・・・・・・・・・・・
・・・・・

「殿ー！大変です！ニセモノでした！！！」

「なんじゃなんじゃ、騒々しい。それはわかっておる。鑑定人が言っておったからな。」

「違うんです！あの鑑定人がニセモノだったのです！ここに本物がいます！」

「なにー！？　して、おぬしが本物なのじゃな！？」

「申し遅れました。私、セキグチ・F・コウタロウと申します。」

「おまえはどこのハーフだ！」

「北京と上海でございます。」

「なるほど。ところで、お前たちはなにをしておる!早くニセモノを捕まえんか！」

「しかし殿、ヤツは逃げ足が速く、全く居場所がつかめない状況でして…」

「うぅむ。こうなったら、奴を呼ぶしかないな。　おい、あのスナイパーを呼べ！」

「殿、もしや…あのスナイパーでしょうか…？」

「そうじゃ！報酬次第でどんな依頼も完璧に遂行するという、隠密スナイパーを呼べ！」

『殿、私をお呼びかな・・・？』

〜fin

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
contax139 1/8 21:29	スナイパー。ゴルゴは江戸時代にもタイムスリップできるのでしょうか。でも、自分からは出ていかないと思うからやっぱりこのスナイパーもニセモノですかね。 どうどうめぐりな展開がリズムがよく飽きずに読むことができました。
ノエ 1/8 23:31	べたなギャグもここまでくると、作者の勝ちですね。 楽しませていただきました。。
みつきんぐ 1/9 15:45	突っ込みながら楽しく読めました。 エンドレスな予感がしますね。
King　Power 1/10 1:42	ばかばかしくて好きです。 でも、名前の下りは、切れがもうひとつかなぁ。
Azalea 1/12 23:37	突っ込みどころ満載で、楽しく読ませていただきました。 残念だなあと思ったのが、終わらせ方。 これでは、無限ループというだけで終わっているので もう少し何か違うような終わらせ方であれば もっとインパクトが残ったんじゃないかなあと思います。 ・・・なにがいいかっていわれると、思いつかないんですけど。
ひぃ 1/13 14:11	一体、真偽の判明にどのくらい時間がかかってるのやら…。本物さん登場遅すぎですよ。ということで、本物と偽物が実はグルだったに一票。 スナイパーが偽物だと判明するのは何年後でしょうね。
kunipi 1/13 16:35	あれ、道場は・・・？ ていうか隠密モノ、人気ですねえ。。 完成度高いですね。 昔、よく白戸三平の忍者モノの マンガを読みました。 また、読みたくなっている今日この頃。。 次回作は、くのいちに戻りますかねえ。。 楽しみにしています。
わがし 1/13 16:56	面白い。軽くていい。
コーサク 1/14 16:27	ベタで、でもコミカルで、面白いです。
けっちゃん 1/16 23:51	天丼も二度までですよ。 三度目はないですよ？？ いいですね！！
キッパイアッテナ 1/17 22:53	うーーん、前回の隠密ものに比べたら、明らかにパワーダウンしているなぁ。 たとえるなら、違う作者さんが真似して書いたような、そんな気がします。
ほろほろ 1/18 3:6	ふはははは、くだらな～い！ ひと笑いさせていただきました。
がらがらどん 1/20 0:20	マジくだらねー。ツッコミどころが多すぎるし。 と思った私は、作者の術中にはまっているのかも・・・
かちかち 1/20 14:9	こんなくだらない発想ができる作者の才能はすごい！ 書かれていることに意味を求めてもしょうがないのでしょうが、隠密鑑定人が壺を３年も眺めているのを、ずっと待っていた殿のキャラをもっと知りたいです。

いそしぎ 1/20 19:9	くすっと笑ってしまいました。 実は「くのいち」の偽者さんが書いていたってことはないですよね…。
daikonsalada 1/21 0:11	本当に面白いですね。 何度も笑ってしまった。ありがとうございました。
わがし 1/21 21:9	作コメがまた楽しい。 とぅっ！
レロニラ 1/22 14:56	もちろん行間が空いているのは自分でツッコミを入れてくれって事ですよね？ 殿の「なるほど」がバカすぎて好きです。

ＴＯＰへ

ストーカー

合計ポイント：11 Point
作者：琥珀
作者コメントを読む

「偽」って何ですか？
何を言えっていうんですか？
何を書けばいいのでしょうか？

ホントに困っちまう・・・

　　どうして言えないの？
　　どうして書けないの？
　　「偽」を知らないから？
　　「偽」とは無縁の世界で生きてきたから？

そうさ
そうかな
そのとおりかもしれない

父と母の深い愛、愛犬と３匹のハムスター
「真」に囲まれ「真」に従い
溢れる「真」世界に私は生きてきた
　生きてきたんだ

　　じゃあそれを書けば
　　その裏返しが「偽」だよって結べば
　　立派なコラムになるんじゃない

うんうんそうだ、そうだね
そうしてみるよ

ポンポンピピピ・・・

　「真」って何？
　たとえば、父母の深い愛、私を裏切ることのないペットたち
　それらに囲まれ、支えられ生きる私
　「偽」とはこれらの裏返し

　　たとえば、身勝手な戯れと予期せぬ裏切り

あれ、あれ、あれ・・・
これってあなたじゃないですか

こんなにこんなに好きなのに、私がこんなに尽くすのに
私の「真」をひょいって跨いで
偽っぽい誰かと
カラカラカラ音を立て
私の想いを嘲笑い合う
たまたまたまたまといいながら
スルリぺろりと裏切っていく
あなたこそ「偽」

でも、でも、でも
そんなつれないあなたでも
わたしにとっては唯一
かけがえのない人なのです

あなたなしでは暮らせない
あなたなしでは食せない
あなたなしでは夢も出せない
あなたなしでは波にも乗れない
あなたなしでは息不能

「偽」の化身たるあなたは
私の「真」を滅ぼすために遣わされたのでしょうか・・・

ああ、私はどうしたらいいのでしょう？

　　決まってるじゃない
　　「偽」は不正、あってはならない存在
　　退治必須でしょ・・・

そうですね、そうですね
そんな簡単事に気づけない私はお馬鹿

愚を乗り超え

「偽」を修正すること
「偽」を消去すること

それこそが「真」たる私の使命なのです・・・

そんなに怯えないで、そんな震えないで
私だけの愛しい人

讃えてください！
「真」たる私の最上の振る舞いを

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
インギリー 1/7 8:28	長ーい文章なんですけど 訴えたいことがよくわかりません。 「何を書けばいいの？」 なんて、書くことではないと思うんです。 タイトルも、中身とのつながりがよくわからないし。
Bloomoon 1/7 19:9	自分こそ「真」だと思ってるストーカーさんが、 追い続けている人を「偽」だと思い込み、この後殺すんでしょうね。 ジョン・レノンが殺されたのも、そんな理由だったような……。 でも、インギリーさんのおっしゃる通り、 余計な文章が目立つ気がします。
ノエ 1/9 17:38	瞑想の中から、心因的なストーカーへの心のウツロイが、うまく表現されていますね。 わたしの解釈ですと、余計な文章は見受けられません。 文章中のコントラストも絶妙だと思います。
ハイパー・ワイハー 1/9 22:51	ごめんなさい。ぼくにはまったくわかりませんでした。
わがし 1/10 15:58	なんか、ホラーな感じがしますよ・・・。 こわいですよ・・・。
はつね 1/11 1:11	「真」、「偽」ってかかれるとどうしても数学が浮かんでしまいます。そうなると「真の私」が正しい場合「偽の私」が必ずしも間違っているわけではないんですよね。 サイコな文章を書こうとするのならば、もっと病的に書いたほうが面白いと思います。今回のままでは狂気を表現したいのに全体的に中途半端な文章になってしまっています。
Azalea 1/12 23:45	狂っていく様子を書いてみたのかなあと思ったのですが いまいち、作者さんの意図が見えないです。 前半と後半の毛色の違いもあるのなら、 生かしてほしかったなあと思いました。
わがし 1/13 17:28	読み返しましたが、やっぱり恐い。 ホラーな感じがする・・・。
みつきんぐ 1/14 12:25	よくわかりませんでしたが、こわさは伝わってきました… でも、考えの変化はよく現れていると思います。
ひぃ 1/15 23:25	「偽り」がないんじゃなくて、どんな「偽り」にも気付けない人なんだろうなというイメージが浮かびました。完璧すぎる「真」はむしろ「偽り」に近いと感じます。 その「真」の中にどれほどの「偽り」があることでしょう。 ＞息不能 明らかに（視覚的に）テンポを遮ってしまっているのに、妙にツボにはまってしまった…。
けっちゃん 1/17 0:5	こういうのを「ホラ～」って言うらしいですよ。
紫雲 1/18 11:58	ポンポンピピピ・・・ がとにかく気になります キーボードをたたく音？
あゆむ 1/18 17:4	暗くて静かな世界なので擬音語や擬態語が映えますね。 ポンポンピピピという間の抜けた音はいい。 わたしはこれは影の話なんじゃないかと思ったです。

茜 1/19 23:51	うーん、あなたは「偽」の「化身」なんですね？ 「今のあなたは偽者のあなた」とか言う思考回路のほうが、理解できるかなー、と思ったのですが。 その辺もあって、感情移入して楽しむにはちょっと自分の感覚との開きが大きすぎましたが、そこは人それぞれということで。 なんにせよ、面白いところをついてきたな、と思います。 「コラム」って単語が出てきますが、ここでは別にコラムを書くことを意識しなくてもいいと思いました。なんだか、妙な感じがしてしまったので。
がらがらどん 1/20 0:11	彼(彼女)は恋をしたが、その人から相手にされず、怒りをその人の恋人に向けて排除しようとする。そしてその行為は間違いでないと正当化する。 というストーカーの心情の流れを表現したというのが私の解釈です。 初めから最後まで、心の移り行く様子が見事に表現されていると思います。歌のような文章も相俟って、オペラ座の怪人を思い浮かべました。
Eisen 1/21 0:40	書き出しを見た限りで、「嫌々ながら書いてるんだよ！」という開き直りタイプの作品かと思いきや。 するすると展開していく脳内独言。その書き味に、見事に呑まれてしまいました。お見事です。 散文詩、とでも呼べばよいのでしょうか。思いつくままに流し書いたようでその実、計算されつくしたリズムのよさ、選ばれた単語、連続的な文体の変化。ちょっと真似できません。 私は「真」なんだ！という言い張りを通して、読者の三者三様に、様々なことを考えさせてくれます。珠玉の作品と信じます。今回の「偽」のコンテストにあって、Eisen一押しの作品です。 みなさんの評価はあまりよくないようですけれども……。
やむ 1/26 16:0	詩のようなものとしては面白いと思います。 歌の歌詞とか。文章のリズムはいいかな、と。 内容についてはあまりついていけなかったです

ＴＯＰへ

いや、まだ大丈夫だよ。君にはまだ椅子を動かす力が十分にあるし。

合計ポイント：11 Point
作者：めふめと2世
作者コメントを読む

大岡山のドトール
一つだけ空いていた奥のソファに腰かけ
アイスカフェラテを口元に引き寄せる。
ただ冷たいだけの液体が喉を通って行くのを確認し
コップをもったせいで少しだけ濡れた指を紙ナプキンで丁寧に拭く。
昨夜家で書き上げたエントリーシートをかばんから取り出し
テーブルの上に置いた。

「こりゃ下手な字だね。内容もありきたりだし
　第一この会社、サブプライム関係で全然だめだよ」

「は？」と思い、顔をエントリーシートから外し声の方向を見ると
田中課長が隣の席でミルクレープを一枚一枚剥がして食べていた。
田中課長は大学近くの社長と課長しかいない小さな印刷会社に勤めており
文芸サークルに所属する僕は、自主出版誌の印刷の際に以前
田中課長と折衝する機会があった。

「田中課長じゃないですか。」

「田中課長？いやそれは人違いです。私には中田という名前があります。」

以前の折衝時の経験から、ややこしいことになりそうな予感がした僕は
目の前のシートに集中することにした。
しかしどうみても田中課長の中田さんは
テーブルの上に置かれた他のエントリーシートを見る度
「あぁぁ」と声を漏らし苦悶の表情をした。

研究者としての道を断念して就職することを決めたものの
自信が揺らぎ気味であった僕にはそれがひどく癇に障った。

「邪魔しないでくださいよ」

「いや別に邪魔するつもりはないのだよ。私は君のすばらしい将来を願っている。
　ただ、君が君の将来のために君の時間が必要なように
　僕も君の将来のために君の時間が必要なんだ。
　その目的の上でね、東工大生である君に案内してほしいところがあって

　僕の願いはそれなんだ。」

「はぁ・・・。案内ってどこにですか？」

「百年記念館という建物だ」

「百年記念館ですか。建築に興味があるんですか？
　その世界では有名な建物らしいですね。
　けど百年記念館なら駅から見えますし、僕じゃなくても駅前の警察や
　構内の守衛さんに聞いたらすぐ行けますよ。
　建物の案内は百年記念館に専門の方がいるかもしれませんし。」

「確かにそうかもしれない。
　しかしあいつらは既に知っていることしか知らないからだめなんだ。
　百年記念館という建物はそういうものじゃない。
　君も学校にいながら何も知らないだろ？」

「そうですね。確かに何も知りません。
　でもそれだと僕も案内役としてだめなんじゃないですか？」

「いや、まだ大丈夫だよ。君にはまだ椅子を動かす力が十分にあるし。」

「椅子を動かすんですか？」

「そう。世界の中心の椅子をだ。それを君が動かすんだ。
　メタファーとしてではなく。私はメタファーが大嫌いでね。」

研究者を諦めたことにより自信が揺らぎがちだったことと
何事も穏便に済ますのが第一な僕の性格もあって
私は中田さんを百年記念館へと案内した。

中田さんによるとその世界の中心の椅子は「かまぼこ」の中にあるらしい。
玄関に入り、上に登るために入り口横のエレベータに向かう僕を中田さんが制した。

「そんなことをしていちゃ動くものも動かないよ。
　そういうものじゃないとさっき言っただろ。」

「はぁ」とため息をついた僕は、半ばやけくそ気味に中央部の階段をぐるぐると登った。そして、息を切らしながら「かまぼこ」にまでたどり着くと
そこには確かに椅子が一つだけ置いてあった。

「これが中田さんのいう世界の中心の椅子か」と思い、「よいせ」と椅子を右に動かす。
当然のように何も起こらない。左に動かす。何も変わらない。

「もう、これでいいですか？」

振り向いたとき、中田さんだか田中さんだかはもういなくなっていた。

『Words are flying out like　endless rain into a paper cup』

突然、携帯に電話がかかってきた。
見慣れない番号だなと思い電話でると警察からだった。
ドトールを急いで出た際エントリーシートを一枚落としてきたらしい。
「ありがとうございます」と僕はその場でぺこぺこと頭を下げ、すぐとりにいく約束をした。

元来た階段を急いでかけおりる。
玄関を出ると、交差点の信号が赤になっているのが見えた。

走る速度を緩めた時、ふと中田さんの言葉が頭をよぎった。

『いや、まだ大丈夫だよ。君にはまだ椅子を動かす力が十分にあるし。』

「何も、起こってないよな。」

百年記念館を振り返って確かめる。
信号が青になる。

一呼吸だけ置いてから、僕はまた走り始めた。

Jai guru deva om , Nothing's gonna change my world

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
紫雲 1/9 18:4	英文が気になったので検索してみたら、ビートルズのAcross the Universeという曲の歌詞の一部だそうです。 何が偽物なのかはよく分からなかったのですが。
わがし 1/9 18:32	ふむ。なにが偽なんだろう。 文章は面白く読めました。 出た、長い題名（笑）
kunipi 1/9 19:2	不思議な作品です。 個人的には、とても好きなスタイル。 これだけの文章を創作できる作者さんを 尊敬します。 で、内容ですが『偽』者は 田中課長の中田さんという箇所ですかね。。 このほかにも、何かありそな予感。。。
ノエ 1/9 21:37	そうですねぇ。。 この文、東工大の人にしかわからない部分が多すぎると感じました。
ほろほろ 1/10 1:0	う～む、自己陶酔が過ぎる文章だと感じました。 村上春樹を思わせるシニカルでイマジナリィな言葉づかいは上手なのですが、 描くべき肝心の所が空席になっていると思いますが、いかがでしょう。 主人公にとって希望とはなんなのか。 中田さんは主人公のどの部分を変えたのか。 その辺りにきちんとケリをつけた文章でないと、 他人に伝わる面白さが醸し出されないのではないでしょうか。
はつね 1/11 1:13	村上春樹臭（海辺のカフカ臭）がしました。メタファーとか、世界の中心の椅子とか。ただ一体何が言いたいのかがさっぱりわかりません。 もう少し話の中心をはっきりさせると良いのではないでしょうか。

プーギン 1/12 5:52	内容はわかりませんでした。たぶん、もっと長い物語のなかで、テーマを詰めるべきタイプのものなのではないかと思いました。 何が「偽」なのでしょうか？
わがし 1/13 16:51	そうですねえ、これ、もしかすると、100万人コードですかねえ。 東工大の大岡山に行った人でないとわからない（笑）
コーサク 1/14 16:17	よくわかりません。解説が欲しい…
Begonian 1/16 14:45	百記はともかく、「かまぼこ」はダメでしょう。 実際に見たことある人じゃないと何がなんだかわからないはずです。 まぁ、その実際に見たことある人でも、この作品が何を言いたかったのかはわからなかったですが。 椅子の件が偽りなんでしょうか。
橘 1/17 16:40	自分なりの解釈なんですけど、 この文章のテーマは『既成概念・固定観念の疑わしさ』ではないでしょうか？ 既に自分が持っている知識をもとに、物事を捉えることは、 必ずしも正しかったり、有用だとは限らない、ということを言いたいのではないでしょうか？ ①履歴書 主人公はきっと就活本などを参考にエントリーシートを書いていると思われます。 パッと見て、しっかりした内容に仕上がっているように思えても、 ありきたりな内容で決して有用な物だとは言えない。 ②田中課長 主人公は中田と名乗る男性のことを田中課長だと決めつけます。 でも、姿形は違っても本当に別人の中田さんかもしれません。 男性が田中課長だというのは飽くまで過去の経験から来た答えであって、絶対正しいとは限らない。 ③百年記念館 中田さんは百年記念館をよく知る係員よりも、何も知らない主人公に案内を頼みます。 係員は設計者の意図のままに百年記念館を説明するのに対し、 主人公は自分で考えた全く違う百年記念館の捉え方をするでしょう。 「かまぼこ」の形に関しても、全く違う見解を示すはずです。 でも、どちらが「正しい」「有用な」案内なのかは決められませんよね。 ⑤エレベータ 「かまぼこ」はかなりの高さにあるので、「一般的に」誰もがエレベータを使うでしょう。 ですが、「高い」→「エレベータを使う」は既成概念であって、それに沿って百年記念館を捉えるべきではない、 と言う意味で、中田さんは主人公を静止したのでしょう。 ⑤世界の中心の椅子 「一般的に」世界に中心などは存在しませんが、 ここでは、この椅子のある場所が世界の中心であると仮定します。 椅子を動かせば、モチロン世界の中心の場所も変わります。 ちょっと上手く伝えられないかもしれませんが、 自分達は「世界の中心は存在しない」という固定観念に捕われているだけ。 第一、「世界の中心は存在しない」という根拠はどこにあるのでしょうか？ 根拠がないのなら、「この椅子のある場所が世界の中心」という考えも、 「正しさ」「有用性」という観点では等価です。 つまり、考え方が少し変わっただけで、世界の中心も動かすことができる、ということです。 まとめると、この世に存在する「一般的な」考え方は、 「正しい」「有用だ」と捉えがちであるけれど、 実際それは疑わしく、「偽」なんじゃないか？ということを作者サンはいいたいのではないでしょうか？ この作品に通じる物として、デカルトの「方法的懐疑」や、 もっと身近なものだと、Mr.Childrenの「フェイク」の歌詞などが挙げられるかもしれません。

キッパイアッテナ 1/18 0:9	うーーん、百万人コードですね。 (このコンテスト、社会人さんや主婦、女子高生さんもいらっしゃるらしいので。) 難しい話です。でも、この作品を読んでいると、湧いてくる感情があるんです。 ”おかしさ” いや、だって、そうでしょ。世界を動かす椅子が、東工大の、よりにもよって、百年記念館にある。 しかも、あの出っ張ったかまぼこの中。 いや、これは笑うべきところでしょう。しかも、普通、レストランになっている場所に、椅子が一つだけ。 いや、神秘的でもなんでもないし。あと、「百年記念館をその世界でも有名な建物ですし」と評する大学生に笑えた。 もしかしたら、ほんとに有名なのかもしれないけど、普通の学生は、あの建物を「変なもの」としてしか認識しないのに。 就職とか、中田さんとか、すごく真面目に読まなければいけない小説なのだろうけど、百年記念館のかまぼこが完全にその厳かな空気をかき乱してしまって、今の僕にはギャグとしか思えない.....ほんと、不謹慎で申し訳ないです。
Azalea 1/18 0:13	紫雲さんの検索ありがとうございます。 へえ、なるほど、と思いました。ビートルズとは。 知らずに通り過ぎるところだったので。 橘さんの詳しいコメントで、ほとんど読み方として 出尽くしている気がしますが、私も 既成概念に対しての疑いということで偽なのかなと思いました。 特に、何も知らない人に案内を頼むあたりが よくあらわしているなあと。 ただ、知ってる人じゃないと楽しめないという点は 大きなマイナスポイントです。 もっと何か、別のわかりやすいもので置き換えても 十分に通用するのになあと思いました。もったいないです
作者 1/18 0:43	http://jp.youtube.com/watch?v=8gLWTtlMwo4&feature=related 参考までに探して来ました。 まずかったら消して下さい。
kunipi 1/18 20:15	＞作者さん リンク、thanks！ 私は、ビートルズ好きなので この作品で知っているフレーズが 使われているのは うれしかったですよ。 でも、学生のみなさんこの歌詞見て ビートルズだってわかんないのかあ。。。 うう。世代間格差。
parakeet 1/19 22:46	どこが「偽」なのか分からないです。 落ちてたエントリーシートを警察に届けるかな～？ と、どうでもいいことを考えてみる。
tkm 1/20 15:34	どんな偽りなのかを最後まで期待して読んだのに何も無く終わってしまい、、、 それが偽りですか？あっけに取られたという感想です。

Eisen 1/20 21:57	見慣れたものに覚える親近感と、それが醸し出す郷愁的な雰囲気。東工大生とそうでない人とでは、明らかに読み方が変わってきます。キッパイさんのコメントしかり、ですね。 何とか工夫して、「東工大」「かまぼこ」「大岡山」等々の単語を出さずに同じ味を演出することは出来なかったのでしょうか。ここまでの筆致を持つ作者さんですから、敢えてのことなのだとは思いますが……。ちょっと卑怯。
あゆむ 1/21 18:24	エントリーシートと聞いて、わたしは文章表現論の作品書いてるのだと思ってしまった。 ところで、ナカタという名はやっぱり海辺のカフカからもらったのですか？
レロニラ 1/21 19:33	何が言いたいのか良く分かんないんだけど、読んでて引き込まれる。けどやっぱり色々気になる、そんな作品でした。
kunipi 1/21 20:27	＞作者さん 作者コメント、読みました。 私は、東工大行ったことないけど 百年記念館という建物のことを知ることが できてとてもよかった。 ２月に訪問する場所にあるのかな？ もしそうならぜひ見学してみたいです。 そして、『海辺のカフカ』。 ナカタさん、好きです。 そして、カフカを読んで 私は高松までうどんを食べにいった女です。 カフカは、高松についた時、駅前で最初に目についた うどんやさんに入って、おいしくてびっくりするシーン。 で、私も最初に目に入ったうどんやさんに入ったら まずくて涙が出た。。。。 そんな思い出の多い作品です。 ・・・繰り返しになるけど、この作品 いい文章だと思いますよ、ほんと。
橘 1/22 23:53	何か、合っているような合っていないような、 微妙な解説になってしまいましたね(^ ^;) 最初の『履歴書』は、深読みのし過ぎだったかもです(苦笑) そういえば、現代文の問題を当の作者が解いたとき、 あまり点数が振るわないという話を聞いたことがあります(・・*) 作者の主観的な視点か、それとも客観的な評価か、 どちらがいいのかって言うだけでも、議論が一つできるかもしれませんね。
めふめと2世 1/23 21:27	>>あゆむさん そうです。ナカタさんですね。 ただ田中課長は先に実在のモデルがいまして 逆にしたら確かあの話ではナカタさんだったなという感じです。 >>kunupiさん ありがとうございます。特に >東工大行ったことないけど このコメントは非常に嬉しいです。 （なんたらコードとかいうのに反論する忘れましたので） 百年記念館面白いですよ。初めて見ても、見慣れても。 僕は今でも石があるとしたら高松じゃなくてあそこな気がします。 本当にその世界では有名な建物ですし。 >>橘さん デカルトまではいけないです。僕はそんなに強くないし。 『履歴書』は、深読みのし過ぎですね～笑。 けど僕はここでのコメントを含め読むこと＝作者の意図を読むことじゃないと思いますし、 というか僕もそういうふうにコメントしてるので、というか、これエントリーシートの課題で間違って作ったやつなんですよ、あれほんとのエントリーシート作るんですね、なので 「偽」に作者コメントをどうあとづけするかしか、コメント期間実は考えてなかったんですよ。

	もう誰も見てないしいいかな〜。 >>レロニラさん なので実は僕もよくわからないのです。
kunipi 1/27 10:0	＞作者さん 読み手には、その場所が実在するかどうかは 二の次であって、あくまで読み手に、イメージを 与える（ないしは湧かせる？）ことができるかどうかが、 書き手の腕の見せ所だと思うのです。 そういった意味において、この作品は 東工大生のみなさんからの評価は、 さしてよくないのかもしれません。 それは「百年記念館を知っているから」。 読み手を動かすことができたら、 （動かすのは心でも足でも可） 作者の勝ち♪
めふめと2世 1/27 12:29	百年記念館を知っているから〜描写を評価するのは難しいという所までは、問題ないと思います。だけど、東工大生じゃないとわからないという評価の仕方は、違うと思うのです。僕らは小説に描かれた場所やディテール描写の全てを知って読んでいるわけではない。 それに百年記念館は物理的に存在しているし、実際高い評価を受けている建物です。百年記念館のかまぼこは例えば小説にあるような「〜の一説知ってる？」みたいな会話と変わらない。 だから知らない他者（東工大生以外）の読み方まで心配して百万人コードという必要はないと思うのですよ。 で、これは別に僕の文章の評価がおかしいとか言いたいのではなく、これをきっかけに百万人コードについてもう少し詰めて考えて欲しいという意見ですので。。。

ＴＯＰへ

イの為？

合計ポイント：10 Point
作者：ノエ
作者コメントを読む

『傷病者は王様なんだから、周りを気にするな』というのが、僕の口癖。
生まれながらにそうゆう役目を背負っているのかわからないけど、よく“ 痛い現場 ”に遭遇する。
それは通勤途中の道端だったり、休暇中のスキー場だったり、救急車よりも、パトロールよりも先にその場にいてしまうのだ。
自称「不幸を呼ぶ男」。

自分自身、けがすることが多いので、いてもたってもいられず駆け寄ってしまう。
う～ん、正直に書くと、興味半分、正義感半分、それにいろんな感情が入り乱れている。

「大丈夫ですか？」と声を掛けるのがセオリーなんだけど、大丈夫じゃない状況でも十中八九「大丈夫です」という言葉が返ってくる。

実はこの声掛け、大丈夫かどうか聞くためではない。冗談（？）で寝ているだけと区別する目的ものあるのだけれど、意識レベル（声が出せる程度の元気があるかも含めて）の確認が目的。

当人は、混乱していることが多く、周りの人以上に状況を把握していない場合が多いから、声掛けをはじめに、受傷状態を含めて状況を把握に取り掛かる。

徐々に落ち着きを取り戻すと、痛みと共に心配事が泉のように湧き出してくる。お金のことから、仕事のこと、迷惑を掛けている周りの人への申し訳ないという気持ち、自分自身への苛立（いらだ）ち。

そんなときに掛ける言葉が「気にしなくていいから、治ることだけ専念しなさい」だ。
時に、誰かのけがで旅行や仕事の変更を余儀なくされたときも『傷病者は王様なんだから、周りを気にするな』と声を掛けるしかない。

自分自身、しょっちゅうけがをするので、その居た堪（たま）れない気持ちがよくわかる。傷病者の気持ちを理解して出る言葉というよりも・・・なんだか自分への言い訳みたいだ。

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
kirie 1/7 10:38	作者様の人柄が偲ばれる文章ですね。 私もしょっちゅうけがをするので、心配事の件は共感できました。本当にいたたまれないですよね。 くっ、情けない・・・。
インギリー 1/8 12:55	けがや病気の時、そういう言葉をかけてくれる人がいたら、どんなに嬉しいでしょう。 私も入院した時、感じました。家事を誰がやってるんだろうとか、生協の注文はどうなってるだろう　とか。（救急車に乗ったときは意識がないので何も覚えてませんが） 蘇生法を消防署の人に教えてもらった時、 「倒れている人にまずするのは、意識があるかないかを確認すること。呼びかけてみてください」 と言われました。 今の世の中、何かあっても知らん顔する人が多いと思うのに… 私がそういう場面に立ち会ったら、うろうろして何もできないでしょう。何度か経験すればわかってくるのかな。
ゼットン 1/9 16:11	僕は助けられた側になったことがあるのですが、 「大丈夫ですか？」 と聞かれて、 「大丈夫じゃないです。」 と答えたら、ほっとかれました。 あの時の正解は、意識不明のフリをする事だったんだ。
大黒様 1/10 15:5	確かに明らかにケガしてる人に大丈夫ですかという声掛けはナンセンスですよね。 偽とあまり関係ないような気が。。。
橘 1/12 16:54	「偽？」→「イの為？」→「人の為？」 ということでしょうか？(・・*) 「情けは人の為ならず」という言葉にもあるとおり、 人に良くすることは結局自分の為になるんだと思います。 というより、むしろ人を助けることで自分が救われるのかもしれません。
イシパイアッテナ 1/13 5:51	作者さんはいい人だぁ(感激 自分も意識不明の人とか駅で倒れているのたまに見かけますが、駅員さん呼んで、そのまま帰ってしまう薄情者なんで、作者さんの優しに心がグサグサ抉られる。 (でも、反省はするものの、これからも駅員さんを呼んでそのまま帰ってしまうんだろうなぁ。) ＞ゼットンさん そりゃぁ、仕方がない(笑 「意識はありますか？」(←結構必至) 「いえ、ありません」 「.....」(←なんとも言えない間) 「.....」（何かを期待する間） 「さて、次をあたるか。」(←結論) 漫才じゃねーか!?

わがし 1/13 18:2	私、車の免許をとるときに、救急講習が義務づけられていて、3時間みっちりやりました。あの、お人形とキスして（ちがうって）人工呼吸してOKってなるまでっていうのもやりました。 その時に、教官から、「まず最初にやることは、助ける人の肩をたたいて大丈夫ですかーと声をかけ、意識があるかどうかを確認することだ」と習いました。 それを習った後、当時の彼に、しょっちゅう「大丈夫ですかー」と肩をたたきながら言っていたら、すごくうざがられました・・・・。 えーん。 そんなことを思い出しました。 いろんなこと考えないで、これからも自らの正義感を大事にして、たくさんの人を助けてあげてください。きっとみんな、大丈夫ですかと声をかけてくれた作者さんの声に安心して、泣きながら手を握って、ありがとう、ってたくさん言ってくれると思います。
King　Power 1/14 10:32	なんだか、いまいちタイトルの意味が分かりませんでした。。 誰か教えてください。
橘 1/16 18:1	＞King　Powerサン ↑↑の自分のコメントをどうぞ参照してみてください(^ ^*)
hanson 1/19 23:47	＞自称「不幸を呼ぶ男」 ＞う～ん、正直に書くと、・・・ ＞・・・セオリーなんだけど・・・ こんな感じで、文章の中で少し視点を変えてくるところが特徴的でかつ面白いと思いました。
茜 1/20 2:4	「大丈夫？」って心配してくれる人が居るから、大丈夫なんですよね。 困ったときはお互い様・・・・・というお話でしょうか。 それとも、倒れた人を見つけたときの対処法？ なんとなく、「伝えたいこと」というのが、よく分からないままぼやけてしまった印象を覚えました。むしろ、ただつぶやきとしての言葉なのかしら？
go19 1/20 6:31	不意に傷病者に接したとき、どのように対処すべきか、なぜ声をかけるのかが明確に述べられていて、とてもわかりやすかったです。 そして、傷病者の方の居たたまれない気持ちに対して、周りの人がどのような態度で接するのが望ましいかも、非常にわかりやすく述べられていると、 go19 は感じました。 ぜひ go19 もこの文章の書き方を、参考にさせていただきます。 『傷病者は王様なんだから、周りを気にするな』って、良い言葉ですね。 go19 も必要な場面があれば使わせていただきます。
いそしぎ 1/20 18:46	作者さんのあたたかさが伝わりました。 どちらかといえばネガティブなイメージの「偽」が、 見事に人の為になっているなと思いました。
Eisen 1/20 23:8	些細なことですが、「そうゆう役目」は「そういう役目」と書くのが適当ではないでしょうか。 「いう」と書いて「いう」あるいは「ゆう」と読むのだと思います。あえて喋り言葉っぽい印象を演出する、というような場合をのぞいてですが。 苛立ち、居た堪れない、に読み方の注を入れたのは適切だったと思います。親切な作者さんの人柄を表しているようで、雰囲気作りにも役立っている……と思うのは考えすぎかな。 「偽」というネガティヴなお題の中にあって、数少ない癒し系の文章。とても素敵でした。 『傷病者は王様なんだから』の言葉が印象的。
unknown 1/21 2:26	知人に対してならともかく、見ず知らずの人に対して声をかけるのはなかなか勇気がいります。 そこでさらに冷静になり、優しい言葉をかけてあげられるなんてすばらしいですね。 私は怪我や病気になると弱気になってしまう方なので、このような声を掛けてもらえるとかなり救われます。 テーマのネガティブなイメージを吹き飛ばす、うまい文章だと思いました。
あゆむ 1/21 18:45	やっぱりノエさんだったのですね。 米国ではどうでした？ 返事が無くてあせったら、実は日本語で呼びかけてたなんてことないかしら？

kunipi 1/21 21:14	あ、わたしもあゆむさんとおんなじ。 ひょっとしてノエさんかな？と思いました。 あったりー。 聖書の「よきサマリア人」のお話を 思い出しました。 病者、傷者にやさしい人でありたいですね。 そして、このコラムを読んで 私も救急救命法の講習会を受けよう、と 思いました。
わがし 1/21 21:43	＞kunipiさん ＞よきサマリア人 そのたとえをしってるあなたを尊敬します。 やっぱりノエさんだったねぇ。 いい人なんやねぇ。
作者 1/22 0:16	「よきサマリア人」とは、私が日本赤十字社の救急法救急員妖精講習会を主催する際によく使う言葉です。 この言葉は、『善意を持って応急手当にあたった者に過失は問わない』という国際法上の精神を示したものです。 語源は、興味のある方は調べてみてください。。 ところで、実際の現場は、そう簡単なものではありません。 応急手当を受けるものにとっては、「感謝」する気持ちの余裕はなく、万一、最善の処置が受けることができなかった場合、救助者に対しての感情は、むしろ不満であることが多いのです。 「誰かに感謝される」というささやかな見返りさえも求めると、多くのケースはむなしい結果に終わります。 結局、よい言葉が浮かびませんが、「自己満足」だけが最終的におびえる自分自身の心を奮い起こすムチになるのです。。
作者 1/22 12:13	あゆむさん＞ アメリカでは・・・・自分が救助されてしまいました。。
kunipi 1/22 22:49	＞妖精ノエさん ナイスっ。うまいっ。 私も妖精してくださいっ。
ノエ 1/23 7:30	クリスマスの妖精のノエです・・・・・ むふふふ、みんな妖精しちゃおうかなぁ～ってかぁ？（なんか滑ってる気がする）
kunipi 1/24 9:10	＞ノエさん ボーダーなんで ふもとまで滑っちゃって下さい。
わがし 1/24 22:16	＞kunipiさん ＞ふもとまで じゃあ、すっころんでもらいましょっかね、プロに・・・。

ＴＯＰへ

性格偽装

合計ポイント：10 Point
作者：てん
作者コメントを読む

サークルの飲み会を１次会で切り上げ、部屋の明かりに目が慣れない中、ぼうっとニュース番組を眺める。
テロップには「またか　相次ぐ食品偽装」との文字が浮かび、キャスターと解説者が形式的な議論を繰り広げている。
一連の偽装問題は渦中の人々にとっては一大事であろうが、僕の生活を脅かしてはいない。
僕の頭は、さっきの居酒屋での出来事を思い返していた。

フットサルのサークルに所属してもう２年目の冬になる。
しかしフットサル自体は好きであるものの、サークルの連中とはどうも合わない。
いや、正確には飲みの席での彼らとは、である。
目の前では、最近彼女ができたヤツを取り囲み、皆が冷やかしはしゃいでいる。
僕は、居酒屋ではいつも馬鹿騒ぎの中心からひとつ距離を置いて、時折そちらに耳を傾けて笑い、残りはお絞りをいじったり、天井や壁に向かってため息をついたりして過ごす。

なぜ楽しいのだろうか。
本当に楽しいのだろうか。

そうこうしているうちに店員がやってきて、制限時間である２時間がようやく消化されたことが告げられる。
しかし他の連中にとってはあっという間だったようで、次はカラオケかボウリングか、あるいはもう１軒行くかと、迷惑そうにしている店員を尻目にテーブルを囲んだまま多数決が始まった。
「じゃあ俺、帰るわ。ここんとこ金なくて」と適当に理由をつけ、多数決に参加するつもりがないことを表す。
特に咎める声も上がらない。

ところが、立ち上がって財布から千円札を取り出したとき、それを渡すべき会計係とではなく、その隣に座っている横田と視線が合った。
横田とはサークル外でも付き合いがある仲だが、そのとき僕に向けられた目は、ひどく冷たかった。
合ったとも言い切れないタイミングで横田は目を逸らしたから、本当に一瞬だったに違いない。
それでも大量のメッセージが頭になだれ込んできた。

なぜ帰るのか。
本当に金がないのか。
なぜ楽しまないのか。
本当につまらないのか。
なぜ正直にならないのか。

テレビ画面に焦点が戻る。
まだキャスターと解説者の議論は続いているようだ。
チャンネルを替えようとリモコンを手にした瞬間、右下のテロップが「またか　相次ぐ性格偽装」と見えた。

相次いでねぇよ！そもそも偽装じゃねぇし！

そう思ったが、横田がいつも同じような視線をよこしていた可能性に思い当たった。
リモコンを持ち替え、電源ボタンに指を伸ばす。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
contax139 1/8 21:37	これは、思わず続きが読みたくなりました! 飲み会の場の回想から、再びテレビの画面に戻るあたりが、上手だと思いました。
ノエ 1/9 17:24	心の内外の描写、フレームワークが絶妙ですね。
ハイパー・ワイハー 1/9 22:57	私にも（誰でも！？）心当たりは、あります。 そこを、とてもうまく書いていると思います！
ほろほろ 1/10 1:17	ははははははは！　すげえわかりますわ！ いや〜、沁みますねえ！ もしこの場がなければ、 この気持ちをひとりで消化しないといけなかったわけですよね！ 良い供養になったと思います！
ロココ 1/12 22:40	自分をあけっぴろげに出来る場所と、出来ない場所、ありますよね。 そのサークルの中で、無理にみんなに合わせている方が性格偽装なのかもしれませんよ。
イシパイアッテナ 1/13 7:9	うまくできた小説だなぁって、作者の文才に称賛と嫉妬を覚えました。
ローズ 1/13 12:46	貴方の“性格偽装”って凄く共感します。 自分は、時々周りに融合できない“障害”を持っているんですが、どうしたらいいか分からないです。
King　Power 1/14 10:30	表現の仕方が、とても良いですね。 なんか、小説の主人公にいそうです。 ただ、最後の一文だけが浮いてる気がしました。
kunipi 1/15 20:43	わたしはどちからというと 飲み会を企画することが多いので 常にみんなが楽しんでいるかに 気を配るのに疲れます。 でも、それでもまた次を企画するのは きっと疲れるけど楽しいからなのかな？ 次回は「僕」が飲み会を 企画してみてはいかがかな？ 横田くんはきっと幹事？ そう推察してみたりして。 もっとも、疲れるだけの飲み会というのも あります。

	うまく避けられるものは 避けていく術も、身に付いてきます、 そのうちに。。。 それまでは見極める目を学生時代に 養っておくことも必要かもしれませんね。。
parakeet 1/17 15:22	僕も二次会とかにはあまり参加しない派なので、よく分かります。 でもこういうのってだいたい自己嫌悪による被害妄想ですよね。 体育会系の部活か文化系の部活かで違うかもしれませんが。
シマエナガ 1/17 16:43	それで良いと思っていながらも、孤独感を抑えられない、という心象風景がうまく書かれていると思います。 　偽装問題が、主人公の気分とさりげなく連動しているのではないでしょうか。
Begonian 1/17 16:55	飲み会ではいつも、酒飲んで盛り上がるよりも、盛り上がってる人たちを肴にソフトドリンク飲んでます。未だコーラより旨い酒に出会ったことはありません。 にしてもテロップをそう見間違えるなんて、主人公テンパりすぎでしょう。微笑ましいです。
Julio 1/19 10:22	主人公の飲み会の席での態度や２次会を断っているところから考えて、偽装どころか寧ろ自分に正直に生きているように感じました。だとすると、偽装ということに対し焦ってテロップを見間違えることも無い気がします。この場合、つまらない付き合いと思いながらも、場を楽しめないことに対する自己嫌悪の方が自然なのではないかと思いました。
Azalea 1/19 13:23	つまらない飲み会なら、最初から蹴ってますけど…… 出なくちゃいけないかなあと思って出たら、食中毒になったり 結構痛い目を見たりして、そこそこ不幸な目にあってます。 最後の終わり方がちょっと浮いている感じは私もしました。 もう少し無難な終わり方はほかにもあったような気がするのですが…… それでもこの雰囲気は大好きですけど。
鞦韆 1/20 0:59	テレビのテロップの文句が、食品を性格に置き換えて比較的収まりが良いものになっているのが素晴らしいと思います。 例えば、食品『会社の』偽装問題とか書かれていたら、性格会社にするわけに行きませんよね。かと言って、性格偽装という言葉にこだわり過ぎて、とてもテレビのテロップには見えない文句になってしまっても問題ですし。この作品ではその点、上手い落としどころの文句に落ち着いているので。
いそしぎ 1/20 20:10	作中の「僕」の言うとおり、それは性格偽装ではないと思います。 偽装しきれていないから、つまらなそうな顔をしたり途中で帰ったりしてしまうわけですね。 とても共感を呼ぶ文章だと思いました。
茜 1/21 1:28	短いシーンをうまく切り取っているな、と思います。 ただ、この微妙な苛立ち？みたいなものが、つかめそうでつかめない感じで、多分それは場面があまりに少なすぎるからじゃないかな、と思ったのです。 楽しくないって、どんな風に楽しくないのかとか描写されたら、もっとすっと納得できるかも知れません。 ところでこの植田さん女の子だったりしたらまた話のニュアンス変わるなあ、なんて思ったりした人・・・・・はあたしだけかな。

ＴＯＰへ

偽りの原点

合計ポイント：10 Point
作者：コーサク
作者コメントを読む

去年、甥っ子ができた。それまでは子供が大嫌いだった私が、今では甥っ子が家に遊びにくる度に、その一挙一動に目を見張っている。生まれて数ヶ月は泣いたり笑ったりする理由がさっぱりであったが、半年を過ぎたあたりからつじつまの合った喜怒哀楽を表現するようになってきた。

まだ掴まり立ちが精一杯の彼は、よく体勢を崩し頭をぶつける。その度彼のリアクションを観察してきた私はあることに気づいた。彼は、大して痛くなくても、親と目が合った瞬間に泣き出す。彼は自分が泣き出せば親があやしてくれることをすでに理解しているのだ。

生まれて一年未満で、言葉も話すことの出来ないにも関わらず、自分の目的を果たすために自分を偽った人間を目撃した瞬間だった。
「コイツ、この歳にして計算してやがる」

人にとって偽るという行為は、生きていく上で必要不可欠であり、親から学ぶ前にすでに備わっているものであるのかもしれない。「偽」という字が「人を為す」と書くのもうなずける気がした。

いつものように頭を床に打ち、母親と目が合った瞬間に泣き出し抱き上げてほしいと手を差し出している彼の目に、涙は全く溜まってなかった。そんな彼を発見した母親がこう言った。
「目合わせたらヤツの思うツボだから、横目で見てほっとくの」

お互い偽り合って駆け引きをしている親子が、なんだか微笑ましかった。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
kirie 1/7 12:10	ヤツって、お母さん・・・（笑）。まだ一歳未満なのに手厳しいですねえ。 私の親戚にも一歳位の女の子がいますが、お前明らかに計算してるだろって思うような行動を取ったことがありました。 まあ、計算でも天然でも、可愛いことに変わりはないんですが。

あお 1/9 14:3	子供は天然で計算してるんでしょうね。生きていく為の本能なのでしょうか。分かってても可愛いな、と思ってしまう。 全体的にまとまっていて微笑ましく読める文章でした。タイトルもイイです。
輝 1/9 17:49	・・・だからぁ、子供と動物は禁じ手ですって・・・（笑） でも、この作品には、子供とはいえ、裏でニヤッとしてそうな（いや、しないでしょうけど） ワル？の一面が描かれてたとこがユニークかな、と。
ノエ 1/9 21:51	鋭い観察力に脱帽です。。 大人でも、目があったのをきっかけに感情があふれだすことってあるものですよね。
貧保 耐三 1/9 22:19	小さい子は間違いなくオーバーリアクションだと思います。偽りというと非常にやな感じですけど。 でもそこがかわいいんでしょうね。
わがし 1/10 16:0	本能なんでしょうねえ。生きていくための。 すごいなあ！
イシパイアッテナ 1/13 6:39	うーーん、読んでいて考えさせられることが多いですね。 ただ、コメントを見て思ったのが、「偽ることは本能」っていうコメントが多かったこと。 たしかに、一歳児が計算をしているっていうことは、けっこう衝撃的なのですが、ただその行動がイコール本能であるという結論を出すのは、早計じゃないでしょうか。 もちろん、一歳では言葉を話すことができないのですが、別に言葉を理解していないわけではなく、話しかけたらなんとなくは意味を理解しているんですよね。あの年でも。 なので、偽るという行動も学習で覚えることじゃないかなぁっと思います。
ひぃ 1/14 11:31	子供の泣き声はまだ話すことのできない言葉の代わりと聞いたことがあります。 泣くとかまってもらえるから泣き声という行為をかまってほしいという「言葉」として使っているのかなと…。計算していることには変わりないかもしれませんけどね。
茜 1/16 20:50	泣いて気を引くのは本能っぽいですが（おなかがすけば泣きますし）、泣く事の使い方を覚えてきたのは学習の結果もありそうですね。 本能で泣くなら偽ってない気がします。意識してこその計算かと。 お母さんの手厳しさが却ってほほえましさになっていてよかったです。 まあ甥っ子ですからねー。姪っ子だったら末恐ろしいですが。 ちゃんと涙も出るように訓練しとこうね。
シマエナガ 1/17 16:46	幼児を細かく観察した結果が簡潔に書かれていて、なるほどと思わされました。 母親はとっくにお見通し、というのもなかなか上手なまとめ方ではないでしょうか。
イッサイアッテナ 1/18 0:22	＞ちゃんと涙も出るように訓練しとこうね。(茜さん) 僕たちは二度と騙されないと心に誓うことにしました。
Azalea 1/18 0:42	いやいや、こんな計算高い子どもいやですね（笑） ちなみに、人間以外にもウソをつく動物はいて チンパンジーだかの一種なんかが、群れの中で空腹を装って 餌をほかの個体に奪われないようにふるまっている様子が 観察されているそうですよ。 くわしくはネットで調べてみてください。
ほろほろ 1/18 3:13	ホントにね、 子どものつく嘘って、カワイイんですよねー！！ 人間の『計算』を、子どもを主人公にして 偽りというお題でコーティングしているのが 合わせ技で一本！　ですね。 もし主人公が女子高生やサラリーマンなら、 同じ『計算』でも、『微笑ましかった』という結びには 絶対ならないですもんね。

かちかち 1/20 15:20	俗に「ウソ泣き」と言われる涙は、子供だけでなく大人も流しますよね。俳優は泣く場面で本当に涙を流すというし、最近は、クリントン大統領候補の涙が話題になりました。涙は、肉体的苦痛だけでなく、悲しみ、悔しさ、喜びといった精神的に高揚した時にも出てくるので、それをウソといっていいものかどうか。他方、「泣く子と地頭には勝てぬ」ということわざがありますが、地頭（会社の社長や官僚などの権力者）のいうことに素直に従ってきた日本社会が少しずつ変わってきていることは、この親子の関係のように決して悪いことではないと思っています。
daikonsalada 1/21 0:26	こんなに小さい子供が嘘をつくと、責められないですね。まあ、かわいいけど、嘘つくことは人間の生まれつきの能力ですね。

ＴＯＰへ

清らかな友達

合計ポイント：9 Point
作者：kirie
作者コメントを読む

その日、俺は友人のアパートにお昼をご馳走してもらいに来ていた。

「ごっそさん。うまかったー」
ぽんぽんと腹を叩き、友人に礼を言う。
俺が至極満足げに見えたのか、友人は楽しげに笑った。
「はい、お茶」
「サンキュー」
二人でゆっくりとお茶をすする。

しばしの間。

「あっ、そだ。お礼っつっちゃなんだけど、ビデオ借りてきたやつ、見る？」
ごそごそとカバンを引き寄せ俺は言った。
「えー？なになに？なに借りてきたの？」
「ふふー」
あえて何も言わず、俺はお目当てのものをカバンから出そうとした。

「うれしいなー、なんだろ？邦画？洋画？俺の友達って俺がアパートで独り暮らししてるからってすぐにエロビデオの鑑賞場所にしようとするんだよねー。そういうのやだからエロビデオ持ってきたやつは次から出入り禁止にしてるんだけど」

――全世界が停止したかと思われた。

「へ、へエ・・・・・・ソウナンダ」
自分が上手く笑えていることを切望しながら、俺は友人の顔を見た。
背中を嫌な汗が伝う。

「そうだけど、何？まさか・・・」
ちょっと悲しげな顔で友人が俺を見てくる。
落ち着け、落ち着くんだ俺！！

「・・・・・・やだなあ、そんなわけないだろ？俺ってば一人暮らしよ？なんでわざわざお前のとこ持ってきて見る必要があるのさー？」
ちょっと激しい身振り手振りで俺は友人にそう言った。そして一本のビデオを取り出す。

「ほーら、普通のビデオだよー」
「あ、ラ〇カル」
そう、出てきたビデオはアライグマのそれ。

「よかったー。もしエロビデオ持ってきてたらどうしようかと思ったよ」
そう言って笑う友人の背後にあった木刀を、俺は見逃さなかった。
ちょっと待て、それで一体何をする気だった！？

「はははははは、やだなあ。健全な男子に向かってそれは無いでしょ？」
エロビデオを持参することはある意味健全だと思うが、まあそれはともかく。

（ありがとう、ラ〇カル。お前の可愛さに目が眩んでなかったら今頃俺は・・・）
とか何とか思いつつ、俺はカバンに入ったエロビデオをこっそり奥に押し込んだ。

「・・・で？今隠したの、何？」
へ・・・？

作品印刷　　コメント印刷
作品に対するコメントを下さい。
コメント登録

投稿者	コメント

ノエ 1/8 12:18	ありがちな内容ですが、面白い話ですねぇ。 できたら、ドラマの脚本のように、脚本を時間の流れに沿った形で表現できていればと思いました。 ”・・・・カバンから出そうとした。”の後の「うれしいなー、・・・・」が少し長すぎると思いました。 シーンを想像すると、”エロビデオうんぬん”を言い終える前にビデオは出しちゃってる気がします。 ”俺はお目当てのものをカバンから出そうとした。”は、「うれしいなー・・・・・禁止にしてるんだけど」のせりふをキーワードである”出入り禁止”の前で分けて、挿入したほうが、時間の流れに違和感が出ないと思います。 「うれしいなー、なんだろ？邦画？洋画？俺の友達って俺がアパートで独り暮らししてるからってすぐにエロビデオの鑑賞場所にしようとするんだよねー。」 あえて何も言わず、俺はお目当てのものをカバンから出そうとした。 「そういうのやだからエロビデオ持ってきたやつは次から出入り禁止にしてるんだけど」
めふめと２世 1/9 19:47	なぜ「ラ〇カル」なのかと思って「ラ〇カル」のあらすじを読んだんですが、エロビデオのジャンルを暗に示すためなのか、あるいは。。。
貧保 耐三 1/9 23:2	ラスカル借りといてよかったですね。 エロ系もアニメ物ぽい…と想像していまいました。
わがし 1/10 12:41	ふーん、男の人って、一人暮らしのおうちでみんなでエロビデオみるんですかー。 お勉強になります。 へー。知らなかったー。へー。
イシルドゥア 1/12 20:14	神様ありがとう～、僕に言い訳をくれ～て～♪ ↑なぜにラ〇カル！？という驚きとともにふっと浮かんだもの 　ありがちなネタで、展開も先読みできたけど、テンポのおかげでくすりと笑わせてもらえました。 　それにしても、隠したもの追求するのは、清らかでない証拠だと思う人。変に意識してる証拠じゃないか。ラ〇カルなんかよりも、エロビデオの行方の方が気になるって言うのね、もう、友人のむっつりさん☆（ぐしゃ
kunipi 1/13 16:25	男二人で、食後にお茶をすすりながら ラ〇カルを鑑賞するほうが ずっと危険なかほりがするのは 私だけでしょうか？ エロビデオのほうがもっとフツー。 ていうか、友達は大丈夫？ ＢＬのかほりがするのは私だけでしょうか？
わがし 1/13 18:6	＞kunipiさん BLってなにー？言えないこと？
kunipi 1/13 18:47	＞わがしさん、 一回しか言いませんからねっ。 （ひそひそ） ＢＬって言うのはぁ、 「ボク、ラ〇カル」の略です。
わがし 1/13 19:7	＞kunipiさん ＞BL ・・・・・・。 ・・・・・・あきらかに違う気がして、ぐぐってしまいました・・・。 ああ、そういうことね。
kunipi 1/13 20:8	＞わがしさん くぅ。。バレましたか。。 「偽」の回なのでつい出来心で。。 「女」の回の作品『AVを借りに行ったときのことである』のコラムで、BLネタは既出でございまし。 アーカイブをご覧くださいまし。

わがし 1/13 22:22	＞kunipiさん、 あっ、そうだったような・・・。 もう年取るとさあ、おぼえてられないんだよねっ・・・。
kunipi 1/14 21:5	＞わがしさん 私も最近、人の名前をぽかっと忘れます。 やばいです（遠い目）
茜 1/15 0:56	イシルドゥアさんのコメントに噴きました。そのためのラ〇カルか！ 比較的さらさら読めて楽しかったです。主人公の慌てっぷりとかもっと大げさに書き込んだりすると、「あ、ラ〇カル」で落差が出たりして面白かったかもしれません。 にしても、潔癖なお友達ですねー。 まるで、「へんなゲームやってない？」と勘ぐる女の子のような。kunipiさんが感じた「BLのかほり」もそのせいかしら？ 彼の過去に何があったのかが気になります。
クリリン 1/15 22:51	何よりラ〇カルが可愛さに目が眩んだ点に激しく共感を覚えます。
鞦韆 1/17 17:28	「偽」、の回に、「清らかな友達」というタイトル。 さて、果たして友達は本当に清らかでしょうか…。 変に深読みしてしまいそうになります。 ラスカルはきっと、借りる時に上に重ねるのに使ったに違いないです。そんなところでラスカルの可愛さに目が眩んだなんて自分を偽らなくても！
ヰッパイアッテナ 1/17 23:16	ちょ、ラ〇カルは..... 水辺で、食べ物を洗っているラ〇カル。 ネロ(主人公の名前を忘れた)の足元に、じゃれつくラ〇カル。 つぶらな瞳で、こちらをじっと見つめるラ〇カル。 これは、思わず鼻血がでてしまう... たしかに、これはエロビデオよりもよほど刺激的ですね。 もう、いやらしい友人さん♪ ＞追記(というかまじめな話) じつは、この友人は女性だったー。という落ちを期待していたのですが、どうやら普通の男性だったみたい。 んー、どうなんだろう？まぁ、友達が家にきて、エロビデオ見ようなんて言われたら、正直ドン引きだけど、そこまで嫌悪するようなことでもない気がするんだ。 いや、でも、やっぱ嫌かなぁ。というか、ドン引きだろうなぁ。 ＞わがしさんとkunipiさんのやりとり さすが「偽」の回だけあるなぁっと思いました。 二人とも御達者です。 というか、主人公は何を考えて持ってきたんだろう？そっちのほうが気になる。そこんところ、作者さんに詳しく教えてほしいかも。
紫雲 1/18 11:54	世界を全停止させずに無言でAVを出すと、 全自動卵割り機的展開になりますね。たぶんですけど
lemontit 1/19 23:56	男の世界って面白い（不思議？？？）ですよね、へへ 昼ごはん食べて、お茶飲んで、エロビデオ？？？二人で？～～ 「エロビデオを持参することはある意味健全だと思うが、まあそれはともかく。」さあ～～
るらら 1/20 22:29	木刀の登場はなかなか想像しにくいですねえ。 あまりにもその友達のことを知らなすぎでしょ。 男同士のぎくしゃくはネタとして新鮮ですね。

あゆむ 1/21 18:19	やっぱり、きりえさんは女性なんですよ。 人当たりのいい読書少女というイメージ。 読書少女というと純文学という感じだけど、きりえさんは大衆文学という感じ。 そんなきりえさんのプラネット初作品は殺人事件。 なんか意外だ。 冬目景さんの初の長編が殺人物だったくらい意外でした。 ところで、この話は実話ですか？
レロニラ 1/23 20:37	AV持参しただけで出禁にする友達って… でも一人暮らしの友達ん家でこういうやりとりって楽しいですよねー

ＴＯＰへ

昔自分、今自分

合計ポイント：9 Point
作者：ロココ
作者コメントを読む

年末年始は同窓会が目白押しである。

特に中学校・高校の部活動の仲間は、その当時、
家族といるよりも一緒にいたのではないかと思う程長い時間を共に過ごした。

それだけ一緒にいれば素の自分を出さないわけにはいかない。
出そうと思っているわけではなくて、伝わってしまうのだ。
今は大人になって、自分をうまく作る方法も覚えてきた気もする。
だからこそ、純粋無垢な昔の私を知っている友達は、
本当の私を知っている気がする。

会っていない時間が長かったとしても、そんなの全然関係ない。
数分もすれば、当時よりもちょっと外見が変わっただけの面々が、
思い出話や近況報告で、おしゃべりも笑いも止まらない。

普段言われない駄目だしをいっぱい食らう。
それがなんだか嬉しい。
遠慮などあるわけがない。
思ったことをそのまま口にして、相手の反応がどうであろうと気にしない。
ちょっとやそっとで今までの関係が崩れるわけがない。
遠慮している方がよそよそしくって失礼だ。

ほんとに楽しい。みんな大好きだ。

私には、昔からの友達に会うときにちょっとした目標がある。
再会するたびに、ちょっと成長した自分をみせようと思っているのだ。

お、ちょっと賢くなったね
お、ちょっと綺麗になったね
お、ちょっと大人びたね

なんでもいい、会わない間にちょっと変わったと思ってもらいたいなぁと思うのだ。

でも、だ。

お、昔となんか変わったねぇ

きた。
期待通りの言葉じゃないか。
けど、なんだか嬉しくない。

・・・昔の私ってどんなだったんだろ

あの当時のみんなは、昔の私を好きで一緒にいてくれたんだと思う。
変わろう変わろうとしていたけど、変わったらみんなが好きだった自分とは違っちゃうのか。

そんなことを思って、昔の自分はどんなだったのか一生懸命考えた。
自分のことなんて一番よくわかっているようで、そうでもない。
昔の自分はどんなで、今の自分はどんなで、何が違うのか。
何かが違う気はする。
けど、分からない。

多少は世間の荒波にもまれてきたと思う。
いろんな経験も積んできたと思う。
その時々の環境に柔軟に馴染んできたと思う。
けど、それで本来の自分を見失ったりしてこなかったか？

昔の自分と、今の自分、
どっちが偽で、どっちが本物か。

みんなと騒いだ帰り、毎回のことながらちょっと悩む。

作品印刷　　コメント印刷

作品に対するコメントを下さい。

コメント登録

投稿者	コメント
輝 1/9 12:38	わたしも年明け早々高校部活友と呑みました♪ 作者さんもホントにこの年末年始になつかしい面々と会って、その実感を作品にしたのかな？と想像してます。 ＞昔の自分と、今の自分、 ＞どっちが偽で、どっちが本物か。 この二者択一はちと極端でテーマへのこじつけに聞こえてしまいました。 どっちもそのときの本物のような気がしますし、 悩むポイントは、どっちの自分が好きか・どっちの自分でありたいのか、などのような気も・・。
ゼットン 1/9 16:4	僕も中学時代の仲間と会うと、よくこういう話になります。 そして中学の自分と比べて変わった所を指摘されると、作者さんと同じで今の自分は偽っているんじゃないかと悩みます。 でもどうせ悩んでも仕方ないって結論になりますよ（笑）
わがし 1/9 18:42	たぶんねえ、そりゃ、どっちも本当ですよね。 今の自分は偽りではない。 それも含めて自分なんでしょうねえ。
ノエ 1/9 20:26	大人になるってことはいいことなのかなぁ？ どちらが自分らしいのだろう？

紫雲 1/10 21:6	「本来の自分」という存在が偽だと思います 今ここにある「自分」という存在が真であって、頭で考える「本来の自分」はあくまで仮想的なものなんじゃないかと思いますね。
あお 1/11 15:33	この感じはすごく良くわかります。 昔の自分に対する郷愁に近い感情なのかも。 たまに昔を振り返って今の自分を見つめなおすことはきっと大切ななの経験ですね。
イシパイアッテナ 1/13 7:41	なんかわかるなぁ。 お前変わったなぁっていわれる部分って、僕の場合あまり成長したと思っていない部分なんで、確かに凹みます。 ただ、「そういうところ、昔から変わらないよね。」と言われる部分も、あまりいい意味で使われない部分なんで、やっぱり凹みます。 あれ、凹んでばかりだ。(涙が出てきた。
kunipi 1/15 20:53	私は、女子高だったのですが 高校時代の部活の友人と会うと そのまま、あの頃にタイムスリップします。 長い人生のたった３年間だったのに 不思議な感覚です。 たぶん、この作品に共感する方が 多いと思います。 私はこの感覚って「止まっていた時計がまた動く」のに 似ている気がしています。 ・・・うまく説明できないので恐縮ですが。。
316L見習 1/17 19:13	似たような経験ありますね。ただ社会で揉まれているとは言い難い自分ですので、作者さん程の実感は得られていないと思いますが。昔と今の自分のついて本物か偽者かという部分ですが、月並みな意見を言わせてもらえば、やはり両方が真実でしょう。今の自分が昔と変わったからといって、昔の自分が元になっているのは間違いないでしょうから、偽にはなり得ないと思います。たとえ自分を周りの環境に合わせて作っているとしても、それもひっくるめて本当の自分なのだと思っています。
Azalea 1/18 0:50	この一月、私は成人式だったのですが そこでは、出身中学ごとに集まるスペースがあったのです。 ……ですが、私は私学進学でして、つまり 「超アウェー状態」 あれだけ肩身が狭かったのは久々です。 お祝いビデオとかも公立中学高校が中心で 一切知らない人のお祝いをむなしく聞いていました。はぁ。 小学校時代の人と会っても、昔すぎてよくわかりませんし やっぱり、中学高校の人とは付き合いの密度がまったく違うので 高校の頃の友人が一番大事なのかなあなんて思ってみたりしています。 レイアウトなどもよくて、共感させられるとても読みやすく 良い文章だったと思います。さいごもよくて 私はとても好きです。
まち 1/18 15:11	作者さんのように「自分」のことをそのようには考えていないので、終わりにかけてうまく読めなかったのですが、昔の友人が自分のことを思い返し喋ってくれることのあの嬉しさはとても幸せですよね。
がらがらどん 1/18 18:8	この文を読んで、果たして本当の自分と言うものを自分自身わかっているのか？という疑問に駆られてしまいました。就職活動などで自己分析をやるべきだということは、自分自身のことをわかってないことの裏返しなんですかね。
アボガド 1/19 12:33	個人的にどっちが偽で、どっちが本物かという問題では無いと思います。ちょっと成長した自分を見せようとすることは偽装だと思いますが・・・素の自分を見せて成長したねって言われればうれしいのではないでしょうか。
lemontit 1/19 23:45	昔の自分、今の自分！！ 昔に比べ、ちょっとでも成長した今の自分がいる〜〜！ 昔に比べ、誠実でない・素のまま出さない今の自分がいる〜〜！ 大人になるのはこういう事でしょうかねぇ。

parakeet 1/20 0:20	僕はみんなから「変わらないねぇ」って言われます。 そんな中で「丸くなりましたね」とか言われて少し嬉しかったり。 どっちが本物か、はあまり問題ではないと思いますよ～。
てん 1/20 22:59	褒め言葉も嬉しいですが、「全然変わらないなー」と言い合いながら笑って過ごすのもいいですよね。 ブランクはあっても自分たちの関係は以前と全く変わりなくやっていけてるんだと。 ただ、昔と今を偽物と本物に分けようとするのはおかしい気がします。 どう考えても昔と今は一本道でつながっているわけですし。
橘 1/20 23:4	江國香織サンの『きらきらひかる』に、こんなセリフがあります。 「でも、変わらないわけにはいかないんだよ。 　時間は流れていくし、人も流れていく。 　変わらずにはいられないんだよ。」 自分はそんなに新しい環境に溶け込むのが得意ではないです。 それゆえ思い出や旧友を大切にする傾向があります。 でも、時間が経つと考え方がすれ違ってしまって、 昔のようにはいかなくなるのを感じるようになってきました。 でも、それは仕方がないことだし、 ある程度は過去を切り捨てないといけないと感じています。 でも、自分の譲れない芯だけは変えないようにして、 あとは変化を恐れずに進んでいった方がいいのかなと感じています。
RIRI 1/21 1:48	その理論だと、昔から変わらない人は常に本物ということになりますね。それかずっと偽者という嫌なレッテルを張られますね。 まあそんなことはどうでもいいんですが、「こんなのは本当の私じゃない！」なんて漫画チックなセリフとともに夜の街に駆けていって真実が分かればいいんですが現実はそんなふうにいきませんからね。 昔と現在。私は自分で『本物』と思うほうが本物だと思います。だって自分のことですもん。どっちも本物だと思えば本物でしょうよ。本来なら『何を以て本物と言えるのか』から議論すべき題材ですから。
茜 1/22 0:23	１度だけ出た高校のクラスの同窓会で、言われたのは「三つ編みが１本になった！」でした。 そういえば成人式も「これ本物？」って髪の毛引っ張られました。 ・・・・・あたしっていったい。 題材は面白いし、みんなの共感も呼べるシーンだと思うのですが、いかんせん「本物」とか「偽者」とかって言葉が場違いに感じました。 どっちの自分が好きかな、とか、どっちがわたしらしかったのかな、だったら、もっとすんなり入った気もするのですが。 まあ、お題だから仕方なかったのかな、という感じでした。
レロニラ 1/23 20:40	地元の友達っていいですよね。こないだ中学の友達と飲んでて、今だから言える話大会をやりました。当時は言えないような事ばかりで、今だからいいものの昔知ってたらケンカだったろうなって思うぐらいのドロドロした話とか。逆にこの話でさらに強固な仲になりました。
やむ 1/26 16:3	共感できる話題で、素直に読めました。 同窓会って楽しいけど、なにか別れた後に考え込んでしまうこともありますよね。同じ環境にいた人たちが今はみんな別々のことをやっていて、違った考え方をして。 ただ、偽者か本物かということまで考えたりはしていないですが。。

ＴＯＰへ

偽

まずは、清水寺の貫首さんに感謝を。そして、それをお題にというアイディアをくださったピチョットさんにも深甚の感謝を。なぜって、この場にとても大きな変化を呼び込めたからです。

それは、論説の大躍進です。さらりと読みやすく、笑ったりしみじみしたり感情面に訴えられることから、コラムランドではどうしてもお話系やその一種としてのネタが多くなりがちです。そんななか、ネタだけではいけないという意識も参加者のなかにしだいに高まってきて、論説コラムを「正統派コラム」と名付け、その正統派コラムの普及と向上を目ざそうという動きが３年ほど前から始まりました。イッパイアッテナさんやAzaleaさんは、その先駆者・牽引者です。
そうした動きにもかかわらず主流はどうしてもお話＆ネタになり、正統派コラムは全投稿作品の1割あるかないか、ほぼ10作品を読む学部の講義版セッションでは毎週１作品程度にとどまります。

ところがところが。

16/43。人によって数え方が多少違うかもしれないけれど、これが今回の結果です。三分の一を超えました。こんなに論説系が多かったのは、14年の歴史を重ねたコラムランド史上で初めてです。いっぽうでお話＆ネタは、わずか７作品にとどまりました。大異変と呼んでよいでしょう。

そして、こうした作品の質的変化に刺激されて、コメント内容に大きな変動が生じたことも今回の大きな収穫でした。
お話やネタなら、いいねぇ、感動しました、なごみました、おもしろかったよ、わはははは、とひとことの印象批評で終わらせられるのですが、論説への批評となるとそうは行きません。賛成する場合でも、どこに納得したか論点を明示しないといけないし、反論する場合には相手の立てたロジックの隙を衝きつつ、いや自分はこう思うけど、と別の考え方を説得的に提示しないといけなくなります。作者さんと同程度か、場合によっては作者さんの何倍もの労力をかけて、こつこつ論理を組み立ててゆくことになるわけです。

リクツに対してリクツの応酬を以てする。論説文の場合、お話を受けとったときの受け身とは異なり、読者がよりアクティヴに書き手と刃を交えることとなります。
この構造がコメントのレベルを格段にアップさせる結果を導いたのではないかなと見ています。作者の投げた問いをコメント陣がいろいろな角度からふくらませてゆく。まさにコラボレーションの実が挙がってゆくようすを日夜まのあたりにする思いでした。それは作者さんにとっても大収穫だったこととお慶び申し上げます。

愉快愉快。人は同じことをやっていては進歩しません。もちろん今回の結果にもあらわれているように、順位付けをするとネタ作品が上位に行ってしまうのですが、そんなことにとらわれず、せっかく良いきっかけに恵まれて経験できたブレークスルーの勢いで、さいごの「金」へと突入してくださいますよう。

そんなわけで、今回のまじょコメントは、このセッションの一大特徴となった論説から振り返ってゆくこととします。ついで体験談、そして最後、異例の少数派となったお話へとつなげます。

論説

　まずは論説部門。ある論点が投げかけられる。それを受けとったコメント陣が、それぞれの論点を付加しながらコメント・ラリーをつなげてゆく。
　では、作品と対峙しつつ積み重ねたコメントのレベルがどこまで行けたのか？
　今回はこれに着目し、３分類で行きましょう。

分類その１　コメント＞作品 コメントの勝ち！

　作品が蒔いた小さな、でも刺激的な論点を、コメント陣が多様にふくらませ、とても充実したコメント欄が仕上がった例。７作品です。

バカ舌って得じゃない？

　いきなりコレ？　そもそも論説？？
　ごもっともです。論説未満のひとりごとを、コメント陣が論説に育て上げたと読んでみました。
　「作る側も食べる側もハッピィになるならこれもいいかもと思ってしまった。」
　たった１行だけれどピンポイント。そうなんですよね。味覚という主観的なエリアに地続きなのが食品偽装の厄介さ＆おもしろさ。いいツボを衝いて、幸せのラインだとか、カニカマやナイルパーチ（『ダーウィンの悪夢』という映画がおススメです）まで引っ張り出していただいたナイストス作品でした。

偽物と本物

　敢えて「非難を覚悟で」極論（むしろヘリクツ？）に走ってみた。その挑戦状をコメント陣がしっかり受けとめて、投げ込んだ爆弾に数倍するていねいな応酬で返した。これも、この場の特性が、うまく活かされた例と思います。
　作者さんの論点がいかに脆弱であったかについてはすでにコメント陣総懸かりでの指摘があるので省略しますが、ルール違反だと一方的に非難するのではなく、中国の偽物文化のなかに存在する秩序や安定の意味を読み解こうとする柔軟な視点はとても良かったので、ぜひ今後育てていっていただければと思います。それこそ異文化理解のたいせつな入り口だから。

偽から真へ

　これも抽象的なタイトルから中国ブランド問題へ、かつ中国ばっかり責めるのはどうなの？　という、「偽物と本物」とほぼ同じ構造でしたが、ヘリクツ度合いが低めで、そんぶん刺激が薄く、コメントのヒートアップぶりも「偽物と本物」ほどではありませんでした。
　まあ、文化って模倣でしょと一般論に逃げてしまっては、「次元が違うよ～」と集中砲火を浴びて沈むのもしかたないかな。

世間に対して恥ずかしい

　ここでも日本の近代化だってマネで成り立ってるんだからという中国擁護論が登場。
　偽装は今日的な問題かどうか――と論点をせっかくしぼったのに、普遍的でもあり、モラルの低下でもある、つまりはどちらでもある、という構造にしたことが議論のシャープさを失ってしまったいちばんの原因と読みました。
　論説文の場合、連想ゲームで文をヨコにつなげてゆくのでなく、ある一つの主張へ向けて各文をタテに積み上げてゆくよう意識すると良いのでは。

隠蔽・偽装・報道

　耐震強度じゃないけれど、この文章の構造そのものに問題があると読みました。
　マスコミが製造業を叩く。だから、そのマスコミを叩こう。そういうターゲットのすりかえでは、ありきた

りのマスコミ批判で終わって説得力を持ち得ないでしょう。
　個々のパートへについての議論はコメント陣がすでに手あつく仕事してくれてますね。

ネーミング

　食品偽装から、ちょいと逸れてドラゴンパンチ味へと行った発想が光りました。
　世間の話題をそのまま引っ張ってくるのでなく、自分なりの味つけを持ち込んだこと、かつそれが身近な、誰でも経験のある「〇〇味」という味つけだったことが、それぞれの読み手さんの体験に基づいたたくさんのコメントを引き出せたのだと思います。
　惜しむらくは、せっかくいい着眼なのに入り口どまりだったということ。ここを出発点に「偽りの食品とは」という大きな問題へもっと斬り込むことができたでしょうに。

ウソ

　ツバルの話もダイオキシン無害説も聞き飽きたもんね〜、というのがここの主要な読者層なのですから、この話題でこんな低レベル（敢えて言えばワイドショーレベル）の議論しか提示できないようではマズいでしょう社会工学。
　お叱りコメントの一つ一つ、身にしみて反芻しつつ、ぜひ次へとつなげてください。

分類その２　コメント＝作品 引き分け！

　作品の放つ問いかけをコメント陣が受けとりつつ、穏やかな返しが中心だった例。そうなってしまった主な原因は作品に託されたメッセージが茫漠としていて、起爆力に今ひとつ欠けていたからのようです。６作品。

清らかな嘘なら許されるの？

　論説だけれど「御社が第一志望です！」というフレーズを最後に置くことで、就活中のみなさまの感覚部分を刺激して、まずは共感を呼び、いろんな意見を引き出すことに成功。こうした手もアリですね。
　話の中心にあるミュージシャンの喩えは、おそらく作者さんにとって自分の人生を考えてゆく上でのひとつのイメージのようなものなのでは。その点、共感は呼びやすかったのですが、これに刺激されて、あるいはこれに反論して何かを考えてみようと挑発されるまでには行かなかったです。

偽りは悪か　真は善か

　こちらも心を偽ることが主題でした。
　飛躍なくていねいに組み立ててあるのですが、それはつまりは凡庸な展開ということになってしまい、まあ、そうだよねという感想しか湧きにくいです。
　こうした主題なら、やはりもっとなまなましい現実に近づけて、たとえば病名告知の場合は？と個別論で掘り下げたいところ。そうでないと、どっちもつらいよね〜とためいきで終わるだけで、新しい展開を見出すのは難しいと思います。

２つの「偽」

　人が為すか、人の為か。ちょっとした言葉遊びだったのでしょうが、不発に終わった感。
　手料理のところで、高級牛肉だよって友達を騙しちゃったくだりは、やはり読者の反感を呼んでしまいますよね。ここ、読者はどうしても「友達」視点で読みますから。
　もののたとえとしてのフィクションだったのかもしれないのですが、論説にはさむ具体例は、その論説の信頼度を左右する大きなポイントとなりますので読者視点を忘れずに。

「人」の「為」と書いて「偽」

まずは誰もが留学生さんと気づかなかったほどにこなれた日本語であることに拍手！
言葉の定義をきっちり踏み固めつつ議論を展開しようとする姿勢も誠実で良いです。次の課題は、事例をしぼりこんで論点を掘り下げてゆくこと、でしょう。

文字の偽物

ちょっとした蘊蓄。でも話題が小さすぎて、へえそうなんだ、から先へ行けませんでした。広げろーというコメント陣の合唱に同意。
いつもいつもシンプルイズベストとは行かないようですね、前回の覇者さん。

あなたは自分を偽ることができますか

途中までありがち新聞記事、「胸にてをあてて」から以降は校長先生のお説教。辛口に言えば、そんな印象です。
ちょっとおもしろい論点が見えたかなあと思ったら、もう終点。だからコメント陣も鋭いリターンを返しようがなかった模様です。
「偽りをもって偽りを真とする。」このキラリ光る論点をもっともっとクローズアップして、おとなの恋愛観など披露していただけると宜しかったのでは。
お題提案者さんだけに気負いすぎて、たくさんのことを盛り込もうとしてしまわれたのかもしれません。

分類その３　コメント＜作品 作品の勝ち！

作品にしっかり力が備わっているおかげで、コメントのほうは肯定的に受けとめたり、技術的な手直し提案にとどまったりといった趣の作品。３つです。

偽りの時雨

たおやかに和歌の叙情を奏でつつ、知識披露で終わるのではなく、王朝の恋愛を現代視点で見たら、こんなビックリという新しい論点提示に成功しています。
まあ、ちょっと助走が長いかな（タイトルがこれでなければ和歌は２つも要らないでしょう）という欠点が気にはなりますが、他の人と異なるユニークさに拍手。

ホメオパシー

体験に基づいての訥々とした語り。それが、じんわりと説得力につながっています。
全体を流れる「それはそれで良い」という人生観が良いですね。シロクロはっきり付けなくちゃという若さの勢いを卒業した、おとなの諦念が文章の味わいになっていると読みました。

新たなビジネスモデル？

論説部門ラストは白い恋人の登場です。
偽装発覚で、かえって売り上げ増という珍現象を肴に、これって新ビジネスにならないかなという、おいしいお酒をプラス。このプラス思考が、世の中ってヘンだよねという単なるありがち慨嘆に終わらず、じゃあそのヘンさでビジネスチャンスを作っちゃおうという明るさが爽やかでした。
論説部門のなかでは首位につけたのも、むべなるかな。

以上で論説部門を終わります。

コメント＞作品　7
コメント＝作品　6
コメント＜作品　3

あくまで私なりの分類でしかありませんが、こんな数字もひょっとしたら意味があるのでは。

論説文ってコメント陣に支えられて急成長できる、その点でこの場向きのジャンルなのですよ、きっと！

体験談

ついで体験談パート、まいります。このまとまりがいちばん多く20作品を数えました。
教えてください、あなたの「偽」体験。

まずは家族の光景から。

偽りの原点

かわいい甥っ子の計算ずくの行動を、そのかわいらしさを損なわずに描写して共感大でした。
ただ、下記のさいごの１行が、やや疑問です。
「お互い偽り合って駆け引きをしている親子が、なんだか微笑ましかった」
お題を意識してまとめた一文なのだと思うのですが、せっかく甥っ子君が振りまいてくれた愛敬を、ちょっと乱暴にくくってしまった感があります。
美しい花を美しいという言葉を使わずに描写するのが文の力であるように、「微笑ましい」というまとめ言葉に頼らずに微笑ましさを醸し出せると、より良いのでは。

僕も偽物サンタクロース

プレゼントする気持ちがサンタクロース。すてきなコンセプトに乗って、しあわせ自慢が繰り広げられます。聞き手もしあわせになれる自慢ですね。
猫ちゃんともども、おしあわせに。

へそくりの使い方

しあわせ家族をもう一軒訪れましょう。
田舎の旧家です。振り袖あでやかに。桐の箪笥が香り立ち。
あんまりはまりすぎだから、たぶんフィクションなんでしょうけれど、飾った写真で晴れ姿を読者にも見せるなど、こまやかな工夫でしっとり浸れます。
それにしてもビンゴでミッフィー当てさせたり、年賀葉書で桐箪笥当てさせたり、懸賞好きの作者さんですねぇ。

センサー

こちらも娘から見た母の肖像でした。
「ざわざわっ」が残ります。宝石売りのおじさんの。
そのあともいろんな体験を御披露いただいて親しみやすく、硬派作品が多いなかの、まさにオアシス的存在でした。フランスの修道院の体験談が特に効いてます。
ただ、色恋における「ニセモノ」っていうのが、ちょっと引っ掛かりました。そんな二分法で行ける話でもないでしょうに。「あなたはホンモノですか？」
ラストの「経年劣化」への着地はさすがですね。ほろりとさせつつ、二度目の銅メダルという偉業です、おめでとう!!

善意のうそ

家族モノ、ラストです。
留学生さん、体験談でしょうか。
言葉づかいはこなれないけれど、悲しみの気持ちはしっかり伝わってきます。特に「親子は二つの世界でお互いに祈るしかできない」という一文が印象的でした。

　そんな家族にはぐくまれつつ、しだいに成長してゆく自分。

昔自分、今自分

　同窓会という小さなタイムトラベルの場を持ってきて、仲間の賑やかさの中で、自分の成長を確かめる。前作の「バイブ」に引き続き、今回も共感を誘いやすい場面設定でしたね。のびやかな筆致が好印象。できれば、どんな「駄目だし」か、おしゃべりのかけらを伝えて作者さんの個性を感じさせると、もっと立体的になると思います。
　ほんのりお題を感じさせてくだされば よいので、「昔の自分と、今の自分、どっちが偽で、どっちが本物か。」という問いは、みなさんおっしゃるように不要だったと思います。連動してタイトルにも工夫の余地あり。

性格偽装

　二次会断って一人テレビ。これも、わかるわかるコールが起きましたね。むべなるかな。
周りに合わせつつも、どう自分らしさを立ててゆくか。日常みんなが感じてそうな悩みごとをテレビ画面に連動させて見せたワザが光ります。
　ラストを現在形で締めたことに違和感を持った読者さんもいらしたようですが、「つづく」感を持たせる点で、これはこれで良い工夫なのでは。

偽の感覚

　夢は不思議。あの時、撃たれた私のほうが実在で、今の私はニセモノなのでは？
　とらえどころのない浮遊感。緻密に組み立てられて真に迫って感じられます。
　作者さん、ミステリー好きならカルロス・ルイス・サフォン『風の影』がおススメですよ。バルセロナ発歴史ミステリー。こんなふうに謎の男の影がちらりちらり登場して、ぞくぞくします。

　そして異性が登場し、性格偽装はより混迷の度を加えます。

自己偽装

　あまた繰り返される世の恋愛シーンを抽象化したら、こんな典型になるのでしょうか。
　すっきりしていて、まるで家具のない白い部屋。あまりに典型すぎて、興を乗せようがありません。
　ホントの気持ちをつかみきれない悶えやいらだちを表現したいなら、もっと泥臭く現実感を塗りこめたほうが宜しかったのでは。

ホントノ自分

　こちらも似たような悶えを、仮面というアイテムで表現。
　仮面がスタンダードの別世界のようなのですが、そこまでフィクション化したにもかかわらず、（心の）仮面を使い分けるという現実世界とよく似ていて設定が生きていないのでは。
　非現実の設定をしたなら、その世界でしか実現しない不思議さ・特異さをもっと演出したかったところ。たとえば二人の仮面を取りかえっこしたり、半分こにしてくっつけたり。
　今のままのストーリーなら、敢えて仮面ワールドに持ち込まなくても表現できてしまいますよね。

嘘つき

　いや、そんなぐだぐだ葛藤してるより、遊んじゃえ。
　ベンツにモナコ。妄想設定をつくって、そのなかでの自分の気持ちを問いかけていただきました。みなさんおっしゃるように物語として面白くするならヘリの一つも飛ばしたいところですが、狙いは面白さではなく、もしこんな状況になったら自分はどうするか、「私はとてつもない大嘘つきだ」のセリフを体験したかったの

では。
　ということで作者男性説は敗北ですね。京急で彼氏に会いにいらしてる彼女さんでしたっ。

It's a …

　女の子のキモチはもっとささやか。メールひとつにどっきどき。
　夢から現実への移り変わりのぼんやり感の描写が、うまく描かれてるなあと読みました。恋に恋する乙女心。応援したくなる等身大のトークです。

ストーカー

　それでも恋心は狂気と紙一重。そこで出ました「ポンポンピピピ」。
　冒頭の楽屋オチっぽい滑り出しはちょっと疑問ですが、ゆるりと立ち上がって、あれ、あれ、あれと加速してゆく言葉のリズムに酔えました。
　ストーカー殺人は学部生コラムの場では頻出アイテムですが、こんなイカれた（←誉め言葉）表現もあるのですねぇ。

最後の1センチ

　恋バナの締めはやっぱりこのかたでないと。
　「帰りの電車」っていう状況設定は、まりちゃん続編かな。
　「全部　任せるからね」とふわり預けられて、いじらしさ全開です。
　ここでよしきた！　と胸を叩けないようでは伴侶ゲットなんてできませんからね、男性諸氏。そういうものです（断言）。

　家族・自分・異性にまつわる偽体験を連ねてきて、ラストコーナーは、それ以外の全部が対象です。

清らかな友達

　BL疑惑が出てましたが。まあ、作者さんのお名前開示で御納得いただけるかも。
　この作者さん、笑いの誘い方が、ほんとに巧みですよね。予想できつつ、つい噴き出してしまう。それに乗ってユーモラスに戯れたコメント陣も愉快でした。

偽女装

　こちらも、ちょっとアヤシイ世界への挑戦だったのですが、入り口で止まってしまったか。
　留学生さん、日本語修行中のひとこまでした。

オゥ　ジャパニーズ

　そんな留学生さんたちを迎える、あたたかなホームパーティ。もう実体験そのままの賑やかさや心づかいが、しっかり文章に載ってますね。一緒におじゃました心持ちで、楽しませていただきました。
　おいしそうだなあ、けんちん汁。打ち上げで再現できないでしょうか。
　おっきなお鍋とIHヒーターと、口も達者だけれど手もよく動く助っ人陣はご用意できますが。

偽りの会話

　「昔は良かった」と発想が後ろ向きなのがとても気になります。
　メール（正しくは「メイル」ですが、もうこちらが市民権得ているのでは）があって、インターネットがあって、初めてこのプラネットも成り立っているわけですし。
　鍵はやはり最終段落でしょうか。「人同士の生きたコミュニケーション」なんて、ほとんど何も言っていな

いにひとしいお題目に逃げ込んでしまわずに、きちんと具体案の提示があると後ろ向きでなくなると思います。

イの為？

　偽装疑惑まっただなかの人物さんは、お題ずらしのワザ。
　経験されたばかりのせいか、さすが実感こもってましたね。
　何はともあれ、おだいじに。

いや、まだ大丈夫だよ。君にはまだ椅子を動かす力が十分にあるし。

　ラストは実体験風妄想。
　大岡山近辺の人にしかイメージできない光景に頼る設定は、やはりNGかなと思いつつ、ハルキ風と言われちゃうようでは文体の確立もまだまだだなと思いつつ、今の状況から離陸しようとする作者さんの希望が託されているのかなと読みました。

お話＆ネタ

　さあて、異例の少数派に甘んじたこのパートでしめくくりましょうか。お話が５作品。プラス、ネタ２本です。

江戸隠密鑑定人

　まずはお笑いを一席、と行きたいところなのですが、さて。
　二度目ですしね。ミョウな名前と珍妙会話だけで持ってゆくには、ちとパワー不足だったか。

加東の葛藤

　ついでギャグのような、そうでないような。
　みなさまおっしゃるようにドラマ性としては、たしかにイマイチなのですが、おそらくは、ただいま就活中の作者さんが、自分が会社のなかでこうなったらどんな行動とるかな、とちょっとシミュレーションしてみたという執筆動機なのかもしれません。
　やっぱり加東でありたいな、じゃあ、こうならないよう真剣に会社選びしないと、みたいに。

４月１日

　よかったね、はっぴぃえんどで。
　携帯画面を開くという三段めの攻撃に虚を衝かれて楽しかったです。
　一人称トークだけれど、明らかに妄想（ですよね？）なので、このお話パートに入れました。
　そして、この作品が二位獲得することによって証明されたこと。みんな妄想がダ・イ・ス・キ！

PLASTIC

　論説パートでさんざん話題になっていた偽ブランドバッグをストーリー仕立てに。
　お題がお題ですし、行列に並んでいる時点でオチが読めてしまいます。よって、読者を驚かせることはできないので、最終シーンでのさやかのキモチをきっちり描いて共感を誘いたかったところ。
　それと、エルメスやグッチと違って、せっかくエコ・バッグという現代性を持たせたのですから、その設定を活かせば、もっと諷刺の効いた作品になったのでは。

旗を揺らす風

　お話パートのラストは粛々と。
　ていねいに描写されているので、じっくり味わうと史伝の重厚さが伝わってくるのですが、やっぱり縦書きで読みたいかな。
　大きなストーリーを、その大きさごとこのスペースにおさめようとすると、どうしても駆け足のあらすじ紹介にしかならないので、登場人物やストーリーの枝葉をばさばさ落として、どこかワンシーンだけをたっぷり見せると良いのでは。

　さいごのさいごはネタ２つ。お札が１枚、コインが１個。さああなたはどちらを取りますか？　期せずして２作品とも次のお題にリンクしてるのが、すてきでした。

交代劇

　発想力にブラボー！
　ええ、もちろんスクロールするまで、全く気づきませんでしたとも！！
　こういうのって、文豪さんに、ついじたばたと未練がましく演説させたくなったりしがちですが、坦々と運命を受け入れさせ、シンプルな仕上がりにおさめたところが、より驚きをクローズアップしてグレイトでした。

偽金貨の作り方

　そしてラストは、なみいる硬派作品を凌駕しての首位作品です。この場の読者層にも助けられましたね。
　こちらも発想力にブラボー！　科学の話なのに、シカクシメンでなく、「困ったら硫酸でも」とか「和同開珎」とか無理難題を飄々とうそぶく工夫が、とてもすてきな味わいを醸し出していました。おめでとう!!